

献血に関する県民意識調査  
報告書

平成22年3月

岡山県

# 目次

I 調査概要	
1. 調査目的	1
2. 主な調査項目	1
3. 調査方法	1
4. まとめ	1
II 調査結果	
基本属性	3
問1. 今までに献血をしたことがありますか。	4
問2. 献血の種類や方法など、献血について知っていますか。	6
問3. 献血に関心はありますか。	8
問4. 次のうち、あなたが献血に関する広報媒体として見たこと(聞いたこと)のあるもの全てお答えください。	10
問5. 次のうち、献血についてあなたが「既に知っていた」情報を全てお答えください。	12
問6. 献血ルームや献血バス等、各献血会場のイメージを教えてください。	14
問7. 献血推進のためのキャラクター「けんけつちゃん」を知っていますか。	16
問8-1 献血推進のために県内で行われている主なキャンペーンであなたが「知っている」もの・「知らない」ものをお答えください。 愛の血液助け合い運動(毎年7月～8月)	18
問8-2 献血推進のために県内で行われている主なキャンペーンであなたが「知っている」もの・「知らない」ものをお答え下さい。 「はたちの献血」キャンペーン(毎年1月～2月)	20
問8-3 献血推進のために県内で行われている主なキャンペーンであなたが「知っている」もの・「知らない」ものをお答え下さい。 「ももたろう献血」キャンペーン(毎年4月～5月)	22
問9. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 初めて献血をしたのはいつですか。	24
問10-1. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 初めて献血をした場所はどこですか。	26
問10-2. 問10-1で「献血バス」を選択された方は、どの場所で「献血バス」を利用されたか。	28
問11-1. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 現在はどこで献血をすることが多いですか。	30

問 11-2. 問 11-1 で「献血バス」を選択された方は、どの場所で「献血バス」 を利用されているか。 .....	32
問 12. (問 1 で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 初めての献血の種類は何でしたか。 .....	34
問 13. (問 1 で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 今までの合計献血回数は何回ですか。 .....	36
問 14-1. (問 1 で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 献血のきっかけは次のうちどれですか？ 初めて献血をした際に きっかけとなったもの(当てはまるものを3つ選んでください。) .....	38
問 14-2. 献血のきっかけは次のうちどれですか？ 現在献血をするきっかけ となっているもの(当てはまるものを3つ選んでください。) .....	40
問 15-1. (問 1 で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 献血会場のサービスについて教えてください。 雰囲気 .....	42
問 15-2. 献血会場のサービスについて教えてください。 職員の対応 .....	44
問 15-3. 献血会場のサービスについて教えてください。 記念品や軽食 .....	46
問 16. (問 1 で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 今後も献血をしたいですか。 .....	48
問 17. (問 1 で「献血をしたことがない」と答えた方にお聞きします。) 献血をしたことがない理由を教えてください。 (当てはまるものを3つ選んでください。) .....	50
問 18. (問 1 で「献血したことがない」と答えた方にお聞きします。) 今後どのようなきっかけがあれば献血しますか。 (当てはまるものを3つ選んでください。) .....	52
問 19. (問 1 で「献血したことがない」と答えた方にお聞きします。) 今後、献血をしてみたいですか。 .....	54
調査票 .....	56

## I 調査概要

この献血に関する県民意識調査は、緊急雇用創出事業を活用し、岡山県が岡山県赤十字血液センターに委託して実施したものである。

### 1. 調査目的

献血を取り巻く現在の状況は、少子高齢化の進展による献血可能人口の減少や、若者の献血離れなどにより、次第に献血者の確保が困難になってきている。一方、医療技術の進歩や高齢者人口の増加等により、今後血液製剤を必要とする患者の大幅増加が予想され、これら血液製剤の安定供給が懸念される状況である。

そのため、将来にわたる献血者を確保し、安定的な血液製剤の供給に努めるという課題に対し、今後の献血推進の施策等を検討する基礎資料を得ることを目的として、若年層を中心に実施した。

### 2. 主な調査項目

- (1) 献血への関心や献血へのイメージ、献血に接する媒体経路等
- (2) 献血に関する認知度
- (3) 献血経験者が献血を行った時期や動機
- (4) 献血未経験者が献血をしなかった理由や献血への動機付け

### 3. 調査方法

- (1) 調査形式 調査員による聞き取り形式及びWEB調査
- (2) 調査場所 岡山県内の市街地、ショッピングモール、大学等
- (3) 調査対象 岡山県在住の16歳以上の県民
- (4) 回答者数 10,366人(内訳 調査結果 P.3)
- (5) 調査期間 平成21年8月17日～平成22年3月31日

### 4. まとめ

調査の結果は次のとおりであり、県民の献血に対する意識や献血協力のきっかけ、継続献血協力への諸条件等がある程度把握することができた。

今後は、得られた課題や問題点等を日本赤十字社岡山県支部や岡山県赤十字血液センターと協力して改善・解決に努め、次代を担う若年層の献血推進に結びつける。

#### 〔献血の経験〕（調査結果 問1 P.4～5）

献血経験のある人とない人の割合は概ね半々で、年代が高くなるにつれて経験者の割合が高くなっているが若年層は10代で11.9%、20代で42.5%と、40歳以上の70%以上を大きく下回っている。

#### 〔献血に対する関心と知識〕（調査結果 問2 問3 P.6～9）

「非常に関心がある」と「関心がある」を合わせると、66.6%が関心を持っているが、45.7%の人が献血の種類や方法を知らないと回答しており、こうした人に対する周知が課題である。

#### 〔献血に関する広報媒体等〕（調査結果 問4 問5 P.10～13）

見たこと（聞いたこと）のある広報媒体としては、テレビや街頭での呼びかけ、ポスターの掲示などが挙げられている。特に若年層は、これらに加え、チラシの配布や献血バスを目にすることなどの回答も多く、これらを使った積極的な広報活動についても検討する必要がある。

また、献血経験者では、400mL献血の必要性やHIV（エイズ）検査結果の不通知について、献血未経験者より認知されていた。

**〔献血ルームや献血バス等献血会場に対するイメージ〕**（調査結果 問6 P.14～15）

献血ルームや献血バス等献血会場のイメージは、59.8%の人が「明るく快適な場所」と回答しているが、反面、22.5%の人は、「暗くて無機質な場所」と回答している。

特に、献血経験の有無でイメージが異なっており、献血経験のある人の70.3%は明るいイメージを持っており、暗いイメージを持っている人はわずかである。また、献血経験のない人では、明るいイメージを持っている人が51.3%に減り、暗いイメージを持っている人が30.2%に増えている。

**〔献血キャラクターと各種キャンペーンに対する認知〕**（調査結果 問7～問8-3 P.16～23）

現在、献血キャラクターとして活用されている「けんけつちゃん」は、全体の17.6%が知っていた。

また、毎年実施している「愛の血液助け合い運動」（7～8月）、「はたちの献血キャンペーン」（1～2月）、「ももたろう献血キャンペーン」（4～5月）についての認知度は、最も高い「はたちの献血キャンペーン」でも31.7%の人にしか知られておらず、他は20%未満と、総じて知られていない。

これらキャラクターやキャンペーンの認知度については、献血経験の有無で割合が異なっており、経験のある人の認知度は比較的高いが、経験のない人の認知度は低い状況である。

**〔献血経験者の初回と現在の献血の状況〕**（調査結果 問9～問14-2 P.24～41）

初めて献血した年齢は、16歳から22歳までが80.5%であり、多くの方が20歳前後に経験している。また、その場所は、高校、大学・専門学校、勤務先、ショッピングモールに配車された献血バスが最も多い。現在の献血場所も献血バスが最も多く、また、今までの献血回数は5回までが72.0%を占めている。

献血をするきっかけは、初回、現在とも、「自分の血液が役に立ってほしいから」が圧倒的に多く、次いで、現在では、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」が続いており、ボランティア精神や社会貢献の意識に支えられていることがわかる。これは、すべての年代で同様の傾向であり、若年層もしっかりとした意識を有していることがうかがえる。

**〔献血経験者の献血会場でのサービスに対する意見〕**（調査結果 問15-1～問15-3 P.42～47）

雰囲気、職員の対応、記念品や軽食とも、「よい」と「ふつう」を合わせると90%以上となり、「悪い」が極わずかである。

しかし、高校生では、献血会場の雰囲気が「明るい」と回答したのは34.7%、アルバイトでは38.0%であった。

**〔献血経験者の今後の献血希望の有無〕**（調査結果 問16 P.48～49）

「ぜひしたい」が64.4%で、特に大学・専門学生や公務員では70%を超えている。

しかし、「どちらとも言えない」と答えた人も33.2%あり、これらの人に対するアプローチが課題である。

**〔献血未経験者の献血をしない理由〕**（調査結果 問17 P.50～51）

「なんとなく不安だから」、「怖いから」、「採血の針を刺されるのが嫌だから」、「献血場所や機会が周囲にないから」など、献血に対する「不安」・「恐怖」などの心理的要因や針を刺されることへの嫌悪感、献血機会の要因が上位にある。

**〔献血未経験者の献血へのきっかけ〕**（調査結果 問18 P.52～53）

今後どのようなきっかけがあれば献血するかについては、「近くに献血する場所・機会が増えれば」、「献血しているところが入りやすい雰囲気になれば」など、献血機会や献血会場の雰囲気に関するものが上位を占めており、献血機会の広報の再検討や献血会場の雰囲気づくりの改善により、対応は可能と考えられる。

**〔献血未経験者の今後の献血希望の有無〕**（調査結果 問19 P.54～55）

献血未経験者の中で、「ぜひしてみたい」と「機会があればしたい」を合わせると、献血希望者は71.0%を占めており、今後いかにこれらの人を献血の実施に結びつけるかが大きな課題である。

## II. 調査結果

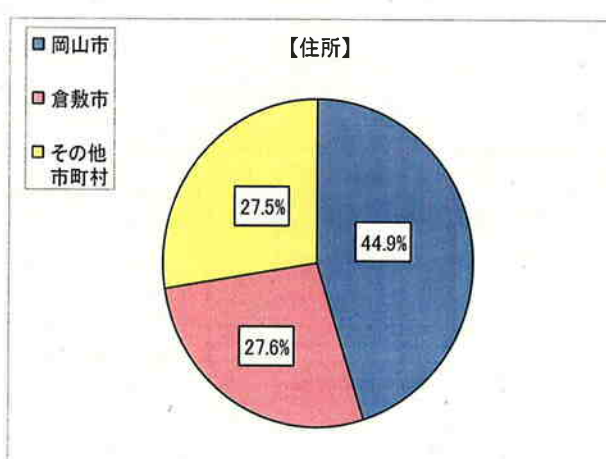
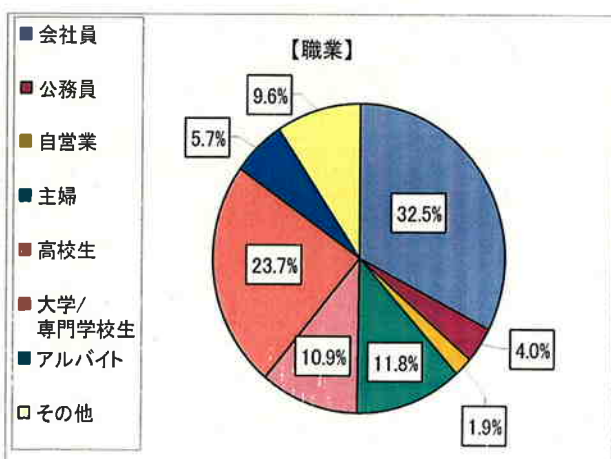
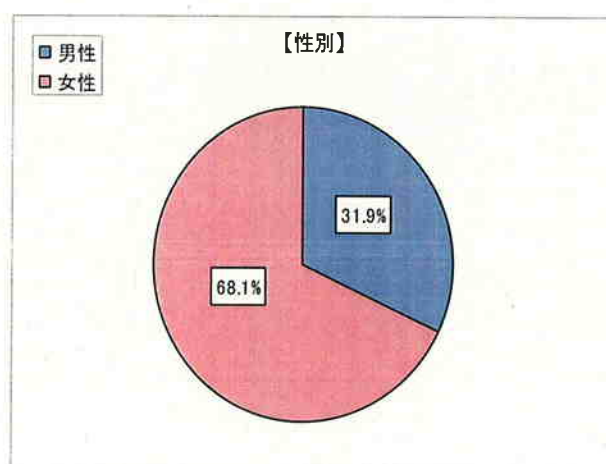
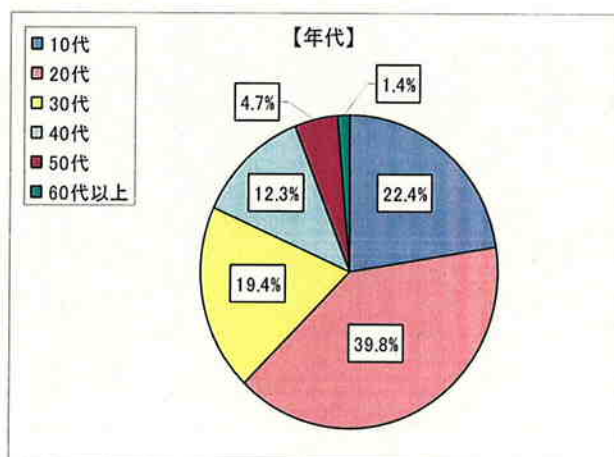
### 基本属性

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計	未回答	全回答数
人数	2,317	4,110	2,000	1,274	489	140	10,330人	36	10,366人

性別	男性	女性	合計	未回答	全回答数
人数	3,290	7,025	10,315人	51	10,366人

職業	会社員	公務員	自営業	主婦	高校生	大学/専門学校	アルバイト	その他	合計	不明	全回答数
人数	3,332	405	196	1,208	1,116	2,423	583	981	10,244人	122	10,366人

住所	岡山市	倉敷市	その他市町村	合計	不明	全回答数
人数	4,553	2,798	2,792	10,143人	223	10,366人



問1. 今までに献血をしたことがありますか。

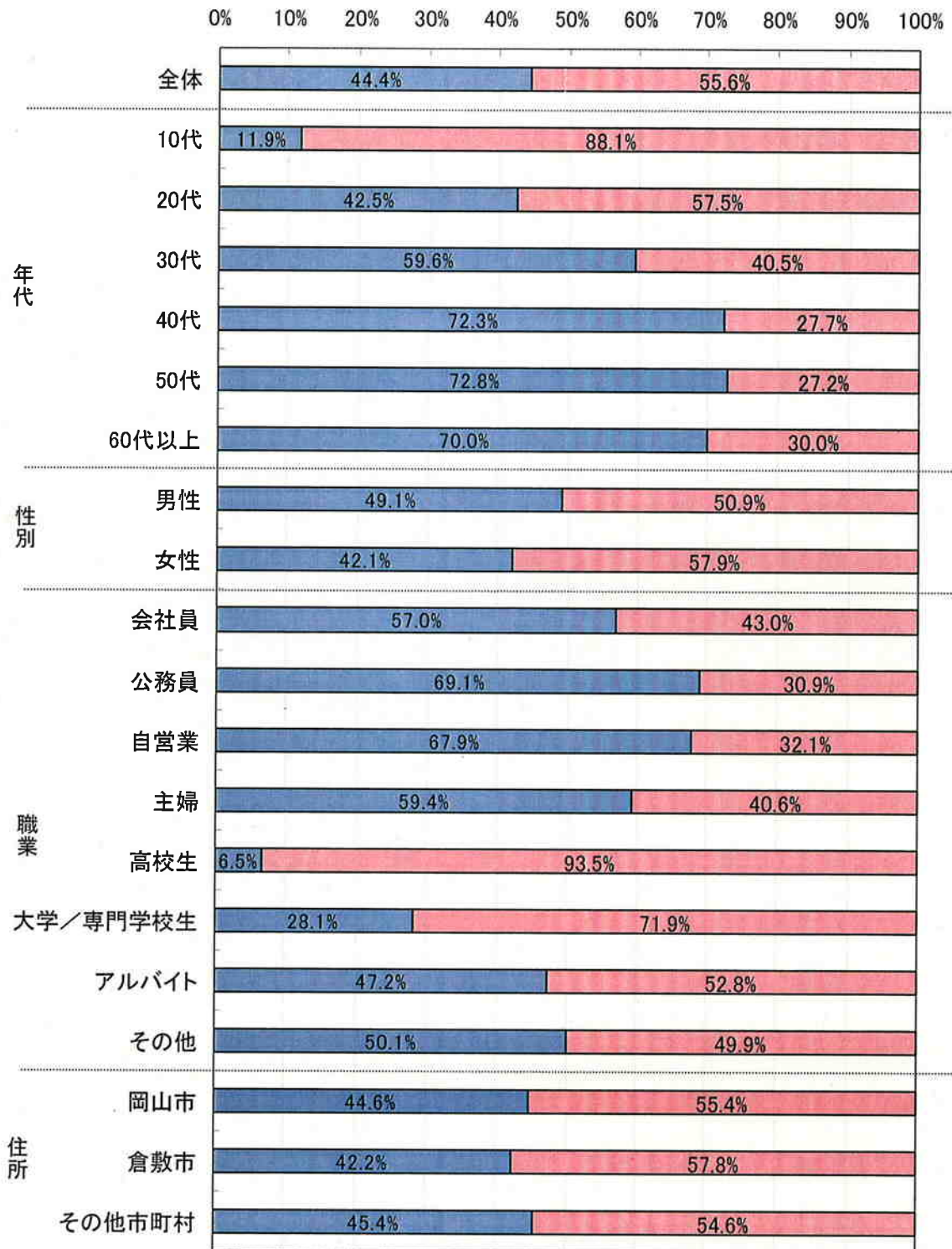
- 全体 献血経験者は全体の44.4%で、未経験者の55.6%を下回っている。
- 年代 年齢に比例して献血経験率は高まっている。
- 性別 男性の方が献血経験率が高い。
- 職業 公務員、自営業で献血経験率が高い。高校生の献血経験者は6.5%とわずかで、次に少ないのは大学生/専門学校生で28.1%となっている。
- 住所 居住地による差異は小さい。

【人数】

		1.ある	2.ない	計
全体		4,595	5,757	10,352
年代	10代	275	2,042	2,317
	20代	1,746	2,364	4,110
	30代	1,191	809	2,000
	40代	921	353	1,274
	50代	356	133	489
	60代以上	98	42	140
性別	男性	1,615	1,675	3,290
	女性	2,960	4,065	7,025
職業	会社員	1,898	1,434	3,332
	公務員	280	125	405
	自営業	133	63	196
	主婦	718	490	1,208
	高校生	73	1,043	1,116
	大学/専門学校生	682	1,741	2,423
	アルバイト	275	308	583
	その他	491	490	981
住所	岡山市	2,030	2,523	4,553
	倉敷市	1,182	1,616	2,798
	その他市町村	1,268	1,524	2,792

□ 1.ある

□ 2.ない





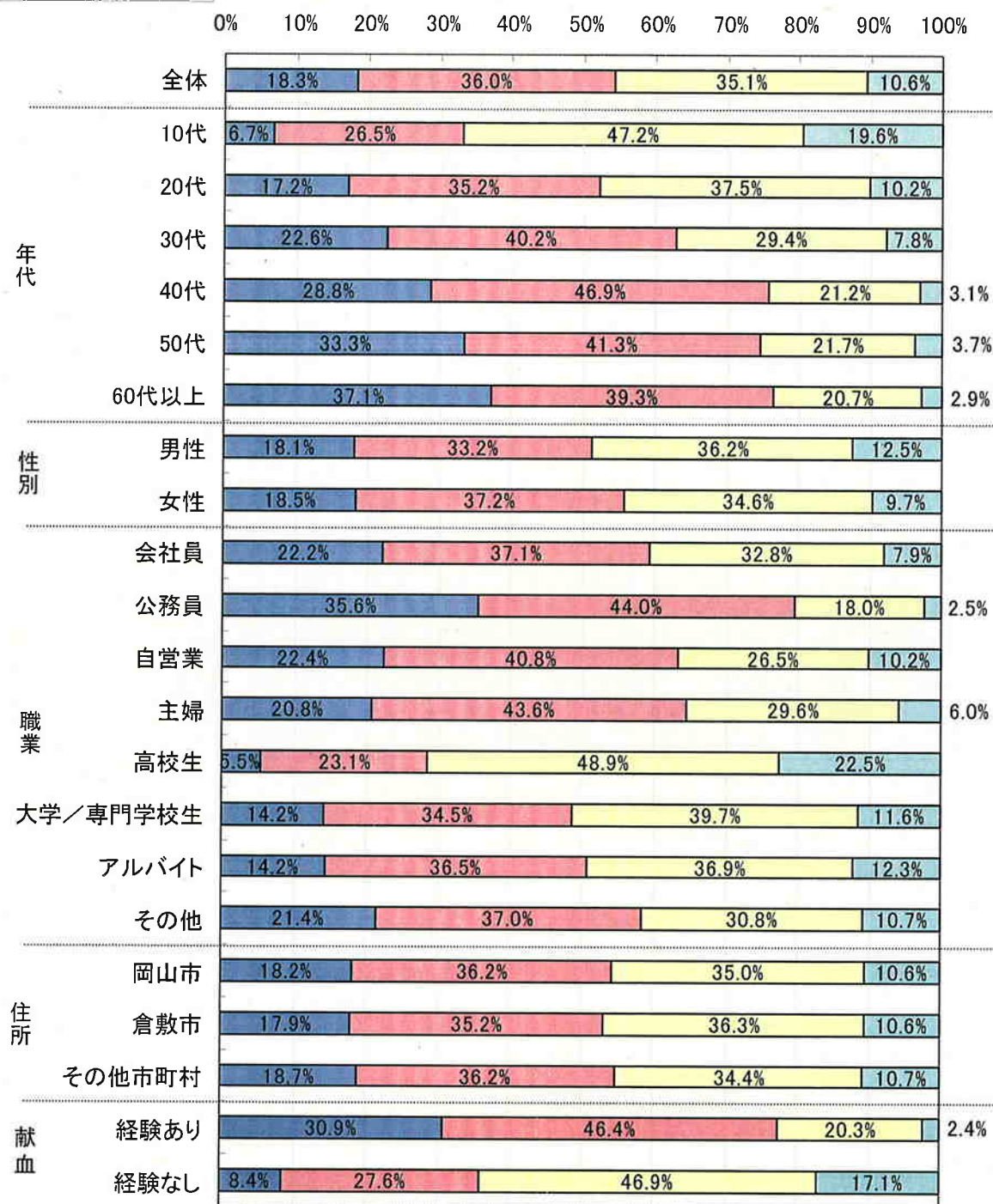
問2. 献血の種類や方法など、献血について知っていますか。

- 全体 約半数の人が献血の種類や方法などを知らない（「3. あまり知らない」と「4. 全く知らない」の合計が45.7%）
- 年代 問1の献血経験と同じく、年代に比例して、知っている人（「1. 知っている」と「2. ある程度知っている」の合計）の割合が高くなっている。
- 性別 性別による認知率の差異は小さい。
- 職業 公務員、主婦、自営業の認知率は高く、高校生、大学／専門学校生の認知率は低い。
- 住所 居住地による差異は小さい。
- 経験 献血経験者は「1. 知っている」「2. ある程度知っている」の合計が8割近くあり、逆に未経験者は「3. あまり知らない」と「4. 全く知らない」の合計が6割を超えている。

【人数】

		1.知っている	2.ある程度知っている	3.あまり知らない	4.全く知らない	計
全体		1,895	3,715	3,626	1,093	10,329
年代	10代	156	613	1,092	453	2,314
	20代	704	1,442	1,536	419	4,101
	30代	450	802	587	156	1,995
	40代	367	597	270	40	1,274
	50代	163	202	106	18	489
	60代以上	52	55	29	4	140
性別	男性	596	1,092	1,188	410	3,286
	女性	1,294	2,611	2,425	682	7,012
職業	会社員	737	1,235	1,090	264	3,326
	公務員	144	178	73	10	405
	自営業	44	80	52	20	196
	主婦	250	525	356	72	1,203
	高校生	61	257	545	251	1,114
	大学／専門学校生	344	835	960	281	2,420
	アルバイト	83	213	215	72	583
	その他	210	363	302	105	980
住所	岡山市	828	1,644	1,593	480	4,545
	倉敷市	499	983	1,012	297	2,791
	その他市町村	522	1,010	959	299	2,790
献血	経験あり	1415	2128	929	111	4,583
	経験なし	480	1,587	2,697	982	5,746

- 1.知っている
- 2.ある程度知っている
- 3.あまり知らない
- 4.全く知らない



問3. 献血に関心はありますか。

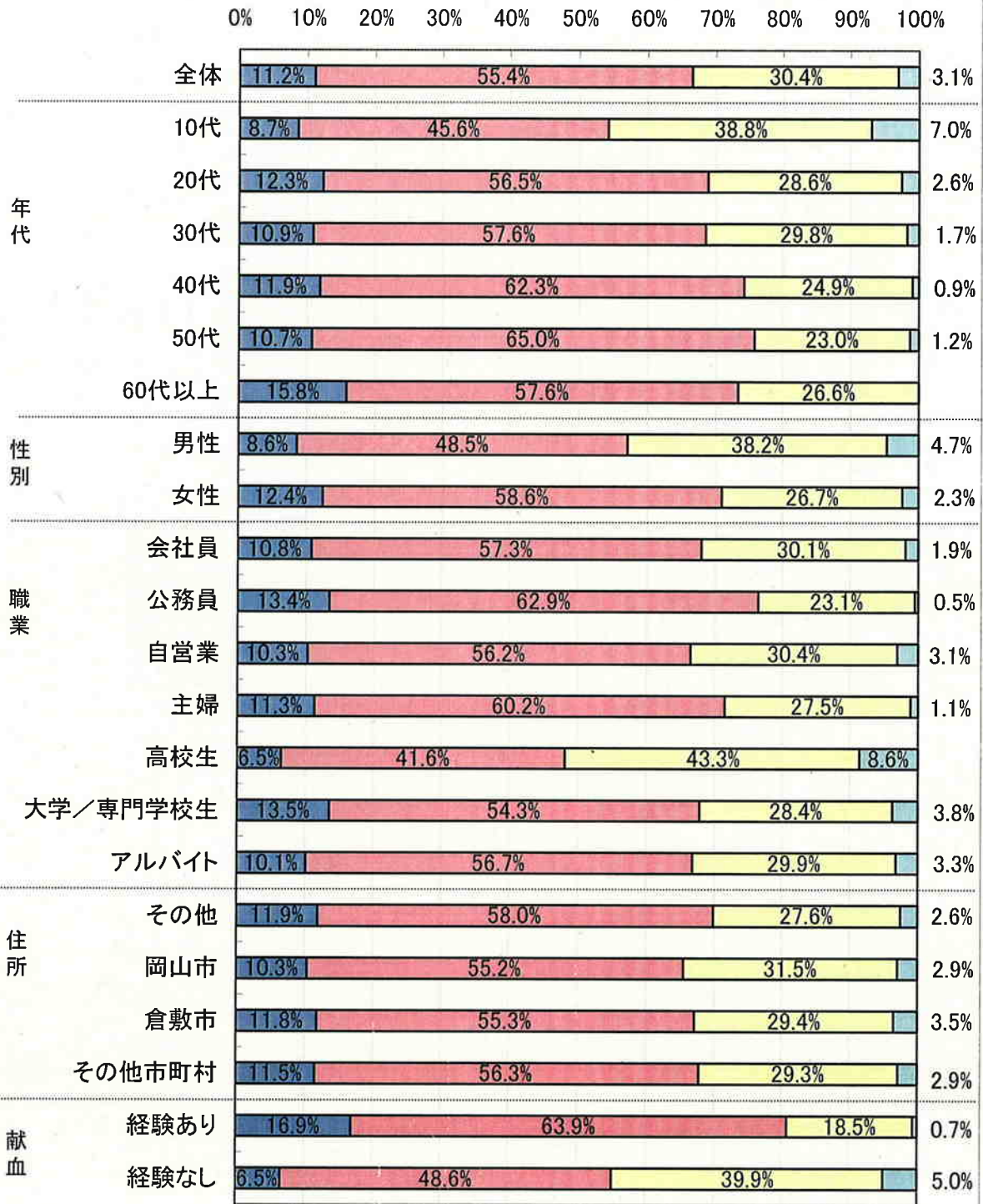
■全体	献血に「非常に関心がある」(11.2%)、「関心がある」(55.4%)を合算した“関心派”は約7割。一方「あまり関心がない」(30.4%)、「全く関心がない」(3.1%)を合算した“無関心派”は約3割。
■年代	40代以上は7割以上が“関心派”。一方年代が若くなるにつれて関心が落ち、10代の“関心派”は6割を下回っている。
■性別	女性の“関心派”は、男性を13.9ポイント上回っている。
■職業	公務員は約8割近くが、主婦は約7割が“関心派”であり、逆に高校生の“関心派”は半数以下と極端に少なく、半数以上が“無関心派”である。
■住所	居住地による差異は小さい。
■経験	献血経験者は“関心派”が8割を超える。未経験者も半数以上が“関心派”であり、献血をするきっかけや献血への理解を深めてもらうことなどの努力をすれば、献血未経験者が献血協力者になる余地は十分であると推測できる。
■全国調査との比較	全国調査では“関心派”：“無関心派”は5：5。岡山の方が全体的に関心が高いことがわかる。
全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」	

【人数】

		1.非常に関心がある	2.関心がある	3.あまり関心がない	4.全く関心がない	計
全体		1,149	5,706	3,129	319	10,303
年代	10代	200	1,049	893	160	2,302
	20代	504	2,319	1,173	105	4,101
	30代	217	1,148	594	34	1,993
	40代	151	789	315	12	1,267
	50代	52	316	112	6	486
	60代以上	22	80	37	0	139
性別	男性	280	1,588	1,251	153	3,272
	女性	866	4,103	1,868	164	7,001
職業	会社員	357	1,899	998	62	3,316
	公務員	54	253	93	2	402
	自営業	20	109	59	6	194
	主婦	136	725	331	13	1,205
	高校生	72	462	481	95	1,110
	大学/専門学校生	325	1,312	686	91	2,414
	アルバイト	59	330	174	19	582
	その他	116	567	270	25	978
住所	岡山市	469	2,506	1,430	133	4,538
	倉敷市	329	1,540	819	97	2,785
	その他市町村	320	1,565	813	80	2,778
献血	経験あり	775	2,926	847	32	4,580
	経験なし	374	2,780	2,282	287	5,723



- 1.非常に興味がある
- 2.興味がある
- 3.あまり興味がない
- 4.全く興味がない



問4. 次のうち、あなたが献血に関する広報媒体として見たこと（聞いたこと）のあるものを全てお答え下さい。

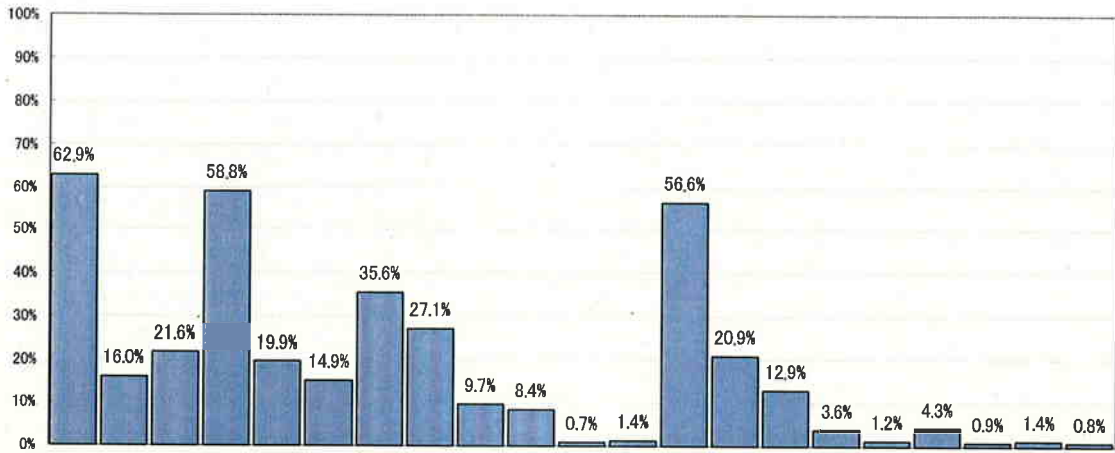
- 全体 5割以上の方が、「テレビ（62.9%）」「街頭での呼びかけ（58.8%）」「献血バス（56.6%）」を選んでおり、この3項目が圧倒的に多い。続いて「ポスターの掲示（35.6%）」や「献血に関するイベント（27.1%）」も比較的多い。逆に、ネット社会と言われるものの、厚生労働省、岡山県、血液センターのホームページは少ない状況。
  - 年代 「ラジオ」「新聞」「会社や地区の回覧板」「自治体の広報誌」は、30代以上が多く、逆に、「チラシの配布」「友人や家族から聞いた」「学校の授業の教材」は10代、20代が多い。「回覧板」「自治体の広報誌」は30代以上が多く、逆に、「ネットサイト」「友人や家族から聞いた」は10代、20代が多い。
  - 性別 性別による差異はほとんどない。
  - 職業 「テレビ」「新聞」は職業による差異はほとんどない。高校生は「献血バス」「街頭での呼びかけ」が少ない。
  - 住所 居住地による差異は小さい。
  - 経験 献血経験者と未経験者との差異は小さい。
  - 全国調査との比較 全国調査でも「街頭での呼びかけ」「テレビ」「献血バス」の回答が多く岡山県と傾向は同じ。
- 全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

		テレビ	ラジオ	新聞	街頭での呼びかけ	チラシの配布	会社や地区の回覧板	ポスターの掲示	献血に関するイベント	自治体の広報誌	パンフレット	献血をテーマにしたブログ	献血をテーマにしたネットサイト	献血バス	友人や家族から聞いた	学校の授業の教材	雑誌	岡山県のホームページ	岡山県赤十字血液センターのHP	厚生労働省のホームページ	その他	見たこと（聞いたこと）がない	総回答者数
全体		6,461	1,638	2,222	6,039	2,040	1,531	3,656	2,780	997	865	74	148	5,817	2,150	1,325	369	127	443	96	147	83	10,269
年代	10代	1,503	185	434	1,073	590	118	786	535	71	268	23	49	1,052	494	531	90	15	62	16	39	46	2,292
	20代	2,500	496	753	2,575	888	508	1,554	1,256	231	344	24	58	2,556	1,085	672	140	44	178	44	61	23	4,088
	30代	1,177	451	436	1,233	288	435	689	527	282	106	17	26	1,187	313	73	66	33	106	19	27	9	1,986
	40代	838	353	411	811	190	328	445	331	266	89	7	9	712	170	38	53	17	70	9	17	3	1,270
	50代	341	118	141	267	69	114	140	106	112	41	1	4	237	66	8	15	14	22	4	2	2	480
	60代以上	89	34	44	76	14	26	38	24	34	17	2	1	68	18	3	5	4	5	4	1	0	138
性別	男性	2,210	694	720	1,644	618	418	985	650	226	263	32	59	1,556	479	376	123	58	127	52	44	44	3,257
	女性	4,232	937	1,494	4,381	1,418	1,110	2,664	2,126	766	600	42	88	4,246	1,662	947	243	67	315	44	102	39	6,982
職業	会社員	2,034	688	652	1,901	483	654	1,040	829	275	176	19	41	1,803	535	264	102	38	167	29	32	24	3,310
	公務員	257	90	108	276	93	97	151	115	73	45	2	4	228	76	38	13	18	32	8	11	3	399
	自営業	126	57	38	112	23	23	45	39	37	15	1	1	94	29	10	9	2	11	3	4	1	191
	主婦	767	197	317	793	183	256	430	343	250	83	10	8	738	218	58	50	16	46	9	12	3	1,201
	高校生	732	88	203	408	243	45	339	199	31	117	9	22	407	205	241	42	7	36	6	16	31	1,100
	大学／専門学校生	1,531	226	487	1,524	714	142	990	761	104	299	20	49	1,505	720	570	80	18	87	28	53	8	2,415
	アルバイト	355	98	142	357	97	104	247	183	84	47	6	7	375	128	60	23	8	21	2	3	4	581
	その他	602	173	260	619	189	195	382	288	135	78	8	14	613	216	77	44	16	40	10	14	8	974
住所	岡山市	2,871	726	963	2,717	872	635	1,610	1,188	372	346	36	67	2,562	971	564	162	50	210	42	51	28	4,529
	倉敷市	1,715	388	566	1,625	538	445	927	769	263	210	19	30	1,556	517	367	96	33	113	27	44	28	2,773
	岡山県その他市町村	1,758	490	647	1,589	597	425	1,060	774	340	300	17	39	1,604	632	375	104	41	113	25	49	26	2,771
献血	経験あり	2,709	918	1,084	2,800	822	950	1,657	1,277	609	346	34	62	2,774	703	422	163	74	305	53	62	14	4,550
	経験なし	3752	722	1,138	3,239	1,218	581	1,999	1,503	388	519	40	86	3,043	1,447	903	206	53	138	43	85	69	5,719



広告媒体



		テレビ	ラジオ	新聞	街頭での呼びかけ	チラシの配布	会社や地区の回覧板	ポスターの掲示	献血に関するイベント	自治体の広報誌	パンフレット	献血をテーマにしたブログ	献血をテーマにしたネット	献血バス	友人や家族から聞いた	学校の授業の教材	雑誌	岡山県のホームページ	岡山県赤十字血液センター	厚生労働省のホームページ	その他	見たこと（聞いたこと）がない
年代	全体	62.9%	16.0%	21.6%	58.8%	19.9%	14.9%	35.6%	27.1%	9.7%	8.4%	0.7%	1.4%	56.6%	20.9%	12.9%	3.6%	1.2%	4.3%	0.9%	1.4%	0.8%
	10代	65.6%	8.1%	18.9%	46.8%	25.7%	5.1%	34.3%	23.3%	3.1%	11.7%	1.0%	2.1%	45.9%	21.6%	23.2%	3.9%	0.7%	2.7%	0.7%	1.7%	2.0%
	20代	61.2%	12.1%	18.4%	63.0%	21.7%	12.4%	38.0%	30.7%	5.7%	8.4%	0.6%	1.4%	62.5%	26.5%	16.4%	3.4%	1.1%	4.4%	1.1%	1.5%	0.6%
	30代	59.3%	22.7%	22.0%	62.1%	14.5%	21.9%	34.7%	26.5%	14.2%	5.3%	0.9%	1.3%	59.8%	15.8%	3.7%	3.3%	1.7%	5.3%	1.0%	1.4%	0.5%
	40代	66.0%	27.8%	32.4%	63.9%	15.0%	25.9%	35.0%	26.1%	20.9%	7.0%	0.6%	0.7%	56.1%	13.4%	3.0%	4.2%	1.3%	5.5%	0.7%	1.3%	0.2%
	50代	71.0%	24.8%	29.4%	55.6%	14.4%	23.8%	29.2%	22.1%	23.3%	8.5%	0.2%	0.8%	49.4%	13.8%	1.7%	3.1%	2.9%	4.6%	0.8%	0.4%	0.4%
	60代以上	64.5%	24.6%	31.8%	55.1%	10.1%	18.8%	24.0%	17.4%	24.6%	12.3%	1.4%	0.7%	49.3%	13.0%	2.2%	3.6%	2.9%	3.6%	2.9%	0.7%	0.0%
性別	男性	67.9%	21.3%	22.1%	50.5%	19.0%	12.8%	30.2%	20.0%	6.9%	8.1%	1.0%	1.8%	47.8%	14.7%	11.5%	3.8%	1.8%	3.9%	1.6%	1.4%	1.4%
	女性	60.5%	13.4%	21.4%	62.7%	20.3%	15.9%	38.2%	30.4%	11.0%	8.6%	0.6%	1.3%	60.8%	23.8%	13.6%	3.5%	1.0%	4.5%	0.6%	1.5%	0.6%
職業	会社員	61.5%	20.8%	19.7%	58.8%	14.6%	19.8%	31.4%	25.0%	8.3%	5.3%	0.6%	1.2%	54.5%	16.2%	8.0%	3.1%	1.1%	5.0%	0.9%	1.0%	0.7%
	公務員	64.4%	22.6%	27.1%	69.2%	23.3%	24.3%	37.8%	28.8%	18.3%	11.3%	0.5%	1.0%	56.6%	19.0%	9.5%	3.3%	4.5%	8.0%	2.0%	2.8%	0.8%
	自営業	66.0%	29.8%	19.9%	58.6%	12.0%	12.0%	23.6%	20.4%	19.4%	7.9%	0.5%	0.5%	49.2%	15.2%	5.2%	4.7%	1.0%	5.8%	1.6%	2.1%	0.5%
	主婦	63.9%	16.4%	26.4%	66.0%	15.2%	21.3%	35.8%	28.6%	20.8%	6.9%	0.8%	0.7%	61.4%	18.2%	4.8%	4.2%	1.3%	3.8%	0.7%	1.0%	0.2%
	高校生	66.5%	8.0%	18.5%	37.1%	22.1%	4.1%	30.8%	18.1%	2.8%	10.6%	0.8%	2.0%	37.0%	18.6%	21.9%	3.8%	0.6%	3.3%	0.5%	1.5%	2.8%
	大学/専門学校生	63.4%	9.4%	20.2%	63.1%	29.6%	5.9%	41.0%	31.5%	4.3%	12.4%	0.8%	2.0%	62.3%	29.8%	23.6%	3.3%	0.7%	3.6%	1.2%	2.2%	0.3%
	アルバイト	61.1%	16.9%	24.4%	61.4%	16.7%	17.9%	42.5%	31.5%	14.5%	8.1%	1.0%	1.2%	64.5%	22.0%	10.3%	4.0%	1.4%	3.6%	0.3%	0.5%	0.7%
	その他	61.8%	17.8%	26.7%	63.6%	19.4%	20.0%	39.2%	29.6%	13.9%	6.0%	0.6%	1.4%	62.9%	22.2%	7.9%	4.5%	1.6%	4.1%	1.0%	1.4%	0.8%
住所	岡山市	63.4%	16.0%	21.3%	60.0%	18.3%	14.0%	35.5%	26.2%	8.2%	7.6%	0.8%	1.5%	56.6%	21.4%	12.5%	3.6%	1.1%	4.6%	0.9%	1.1%	0.6%
	倉敷市	61.8%	14.0%	20.4%	58.8%	19.4%	16.0%	33.4%	27.7%	9.5%	7.6%	0.7%	1.4%	56.6%	18.6%	13.2%	3.5%	1.2%	4.1%	1.0%	1.6%	1.0%
	その他市町村	63.4%	17.7%	23.3%	57.3%	21.5%	15.3%	38.3%	27.9%	12.3%	10.8%	0.6%	1.4%	57.9%	22.8%	13.5%	3.8%	1.5%	4.1%	0.9%	1.8%	0.9%
献血	経験あり	59.5%	20.1%	23.8%	61.5%	18.1%	20.9%	36.4%	28.1%	13.4%	7.6%	0.7%	1.4%	53.2%	15.5%	9.3%	3.6%	1.6%	6.7%	1.2%	1.4%	0.3%
	経験なし	65.6%	12.6%	19.9%	56.6%	21.3%	10.2%	35.0%	26.3%	6.8%	9.1%	0.7%	1.5%	53.2%	25.3%	15.8%	3.6%	0.9%	2.4%	0.8%	1.5%	1.2%



自由記述

- 献血活動（献血バス）を見た（57） → 内訳：学校41人・職場15人・駐車場1人
- 献血ルーム/血液センター/赤十字を見た（31）
- 学校で習った（19）
- 学校サークル等で自ら献血呼びかけをした（11）
- 家族・知人から聞いた、又は家族・知人が献血協力者（9）
- 病院（4） ■本・マンガ（4） ■ライオンズクラブで聞いた（2） ■「うちわ・カットバン等配布物（2）
- ハガキ（2） ■広報誌（2） ■デパートやスーパーの掲示板（1） ■メール（1）

問5. 次のうち、献血についてあなたが「既知っていた」情報を全てお答えください。

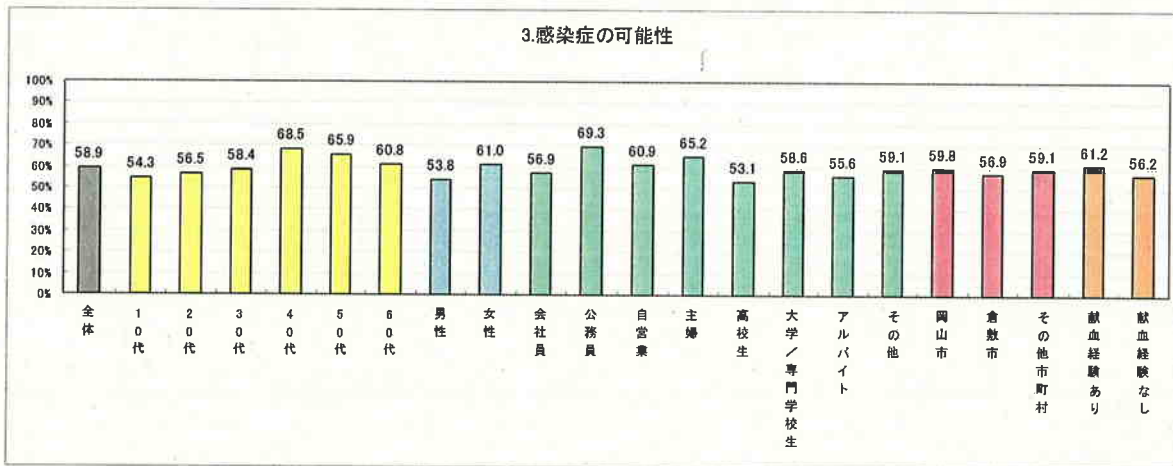
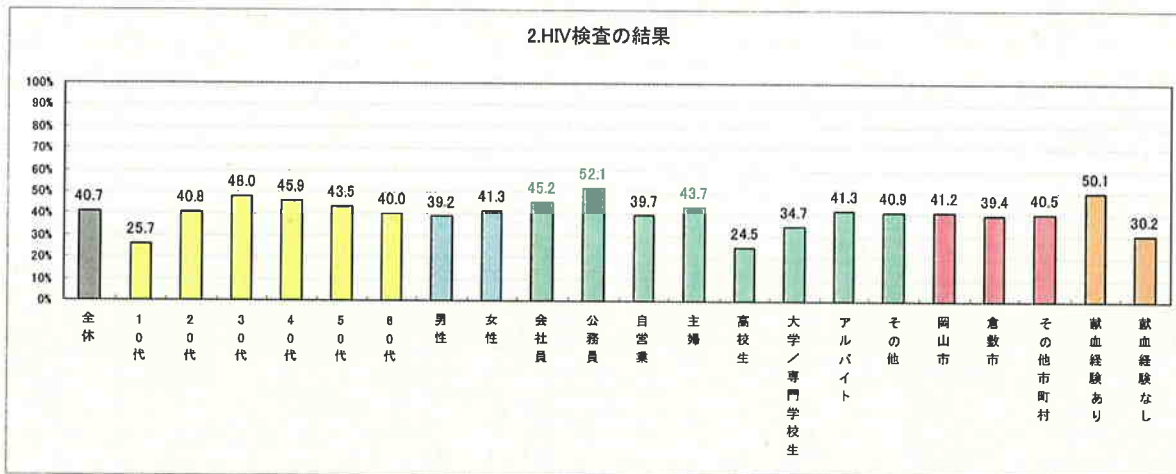
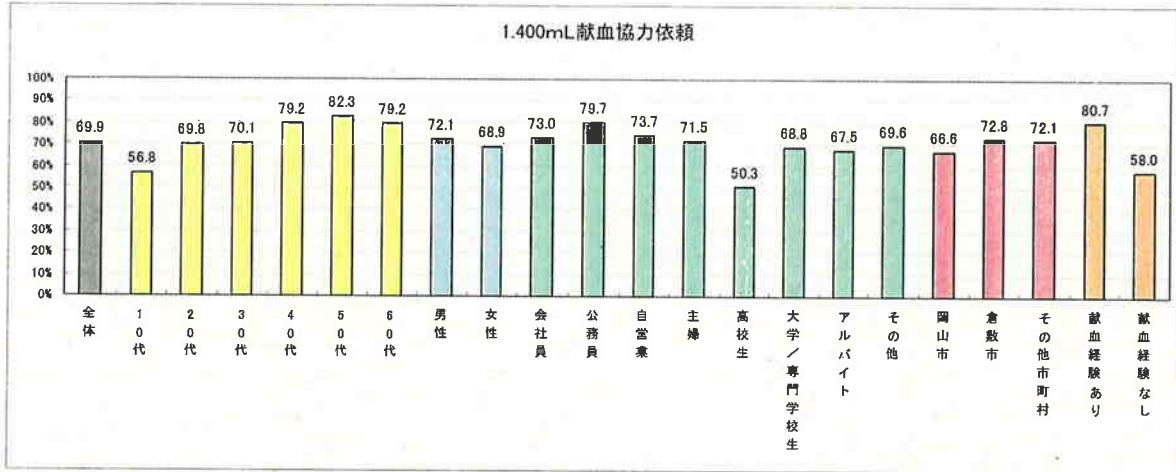
- 全体 認知度が高いのは、「400mL献血への協力」で、以下「感染症の感染可能性はない」、「HIV（エイズ）検査結果は知らせていない」の順となっている。「400mL献血への協力」は、約7割の人に認知されており、献血経験者は8割となっている。「HIV（エイズ）検査結果は知らせていない」の認知度は4割で、献血経験者でさえ5割に留まっている。「感染症の感染可能性はない」の認知度は6割で、献血経験の有無による差異はない。
- 年代 3つの情報とも10代が比較的少ない。「400mL献血への協力」は、40代、50代、60代が約7割と比較的多い。「HIV（エイズ）検査結果は知らせていない」は、30代、40代が比較的多い。「感染症の感染可能性はない」は、40代、50代が比較的多く、他の年代のばらつきは少ない。
- 性別 性別による差異はほとんどない。
- 職業 高校生は他の職業に比べ「400mL献血への協力」、「HIV（エイズ）検査結果は知らせていない」の認知度は低いが、「感染症の感染可能性はない」については他の階層と比較して差異は少ない。
- 住所 居住地による認知率の差異は小さい。
- 経験 献血経験者は、未経験者に比べ、「400mL献血への協力」、「HIV（エイズ）検査結果は知らせていない」の認知度が高いが、「感染症の感染可能性はない」は差異がほとんどない。

【人数】

		1.献血バスでは輸血時の安全性を高めるため400mL献血への協力もお願いしている	2.HIV(エイズ)検査の結果は知らせていない	3.献血を通じてエイズや肝炎、その他の感染症に感染する可能性はない	総回答者数
全体		5,439	3,166	4,579	7,780
年代	10代	742	336	709	1,306
	20代	2,163	1,264	1,750	3,099
	30代	1,165	799	971	1,663
	40代	907	525	784	1,145
	50代	357	189	286	434
	60代以上	95	48	73	120
性別	男性	1,693	920	1,263	2,347
	女性	3,725	2,235	3,298	5,408
職業	会社員	1,893	1,172	1,476	2,593
	公務員	283	185	246	355
	自営業	115	62	95	156
	主婦	749	458	683	1,048
	高校生	288	140	304	572
	大学／専門学校生	1,192	602	1,016	1,733
	アルバイト	307	188	253	455
	その他	553	325	470	795
住所	岡山市	2,283	1,412	2,050	3,430
	倉敷市	1,514	820	1,183	2,079
	その他市町村	1,534	862	1,258	2,129
献血経験あり		3,300	2,049	2,503	4,088
献血経験なし		2,139	1,116	2,075	3,691

※上記回答者数は「知っている」人の人数

【各情報の認知率】





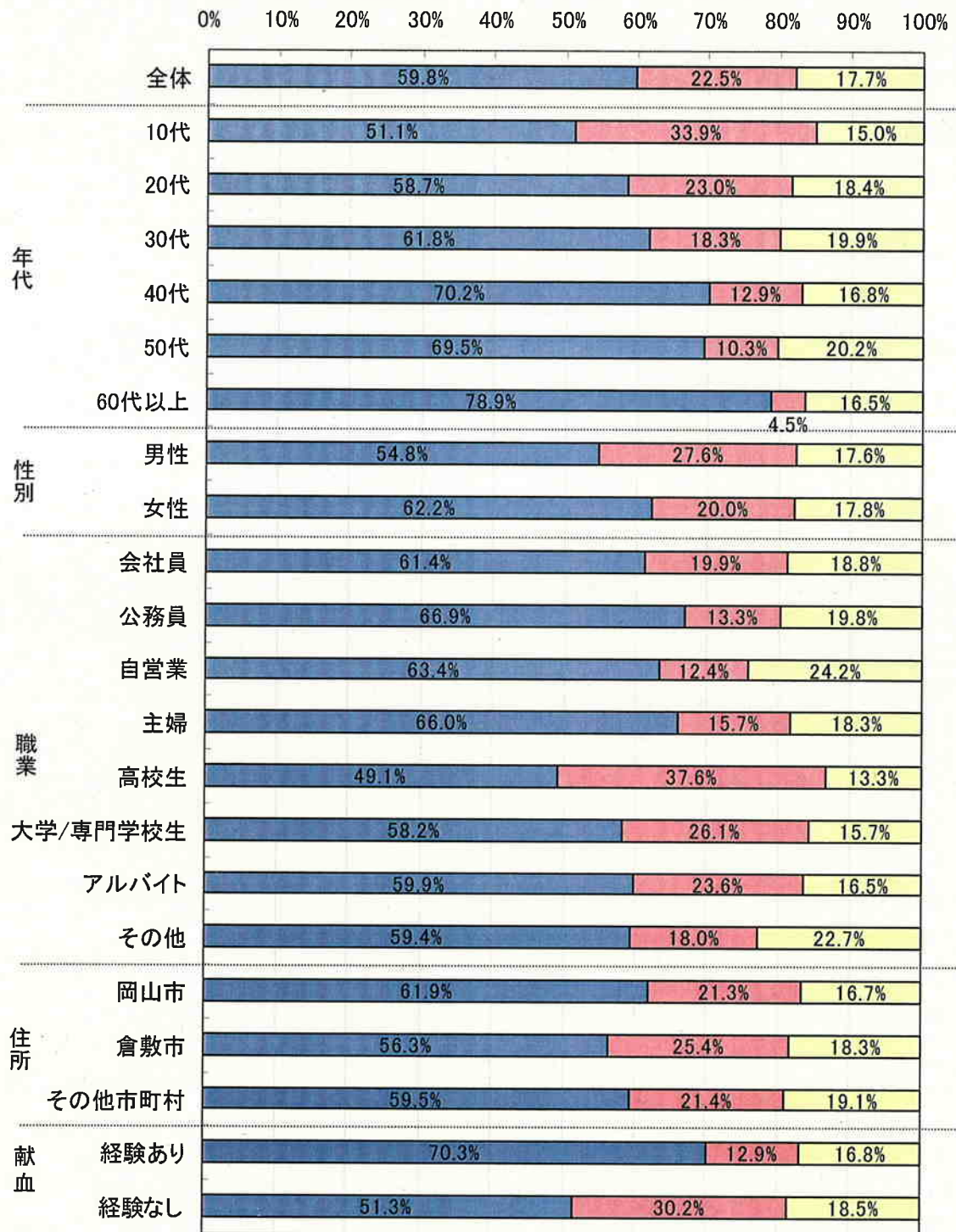
問6. 献血ルームや献血バス等、各献血会場のイメージを教えてください。

- 全体 「明るくて快適な場所」が6割近くに達したが、「暗くて無機質な場所」と答えた人が2割強ある。
- 年代 「明るくて快適な場所」と答えた率は、年代が上がるにつれて高くなっており、逆に、「暗くて無機質な場所」と答えた率は年代が下がるにつれて高くなっている。
- 性別 「明るくて快適な場所」と答えた率は、女性が僅かに高い。
- 職業 「明るくて快適な場所」と答えた率は、公務員、主婦が高く、逆に高校生、大学／専門学校生では低い。
- 住所 居住地による差異は小さい。
- 経験 献血経験者は7割が「明るくて快適な場所」と回答。未経験者のうち、「暗くて無機質な場所」の回答者が3割あり、未経験者を献血につなげるためには、何らかの対策が必要と考えられる。

【人数】

		1.明るくて 快適な場所	2.暗くて 無機質な場所	3.その他	計
全体		5,879	2,207	1,744	9,830
年代	10代	1,128	748	330	2,206
	20代	2,299	900	720	3,919
	30代	1,167	345	376	1,888
	40代	852	157	204	1,213
	50代	316	47	92	455
	60代以上	105	6	22	133
性別	男性	1,703	858	546	3,107
	女性	4,161	1,340	1,191	6,692
職業	会社員	1,920	622	587	3,129
	公務員	257	51	76	384
	自営業	118	23	45	186
	主婦	749	178	208	1,135
	高校生	522	400	142	1,064
	大学／専門学校生	1,360	610	368	2,338
	アルバイト	338	133	93	564
	その他	558	169	213	940
住所	岡山市	2,684	925	725	4,334
	倉敷市	1,502	676	488	2,666
	その他市町村	1,572	566	504	2,642
献血経験あり		3,092	568	740	4,400
献血経験なし		2,786	1,639	1,004	5,429

- 1.明るくて快適な場所
- 2.暗くて無機質な場所
- 3.その他



問7. 献血推進のためのキャラクター「けんけつちゃん」を知っていますか。

- 全体 認知率は17.6%と、「けんけつちゃん」の認知度はまだまだ低い。
- 年代 認知度が低い中、10代、20代、60代以上の認知度がやや高い。
- 性別 女性は19.6%と男性を6.4ポイント上回っている。
- 職業 大学/専門学校生が27.0%と最も認知度が高く、公務員、高校生も比較的高い。
- 住所 居住地による差異は小さい。
- 経験 献血経験者の認知率は22.5%だが、未経験者は13.6%に留まっている。
- 全国調査との比較  
全国調査では献血経験者の認知率は23.8%、未経験者は7.2%となっている。岡山県の献血経験者の認知率は全国とほぼ同率であるが、未経験者の認知率は高い。

全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

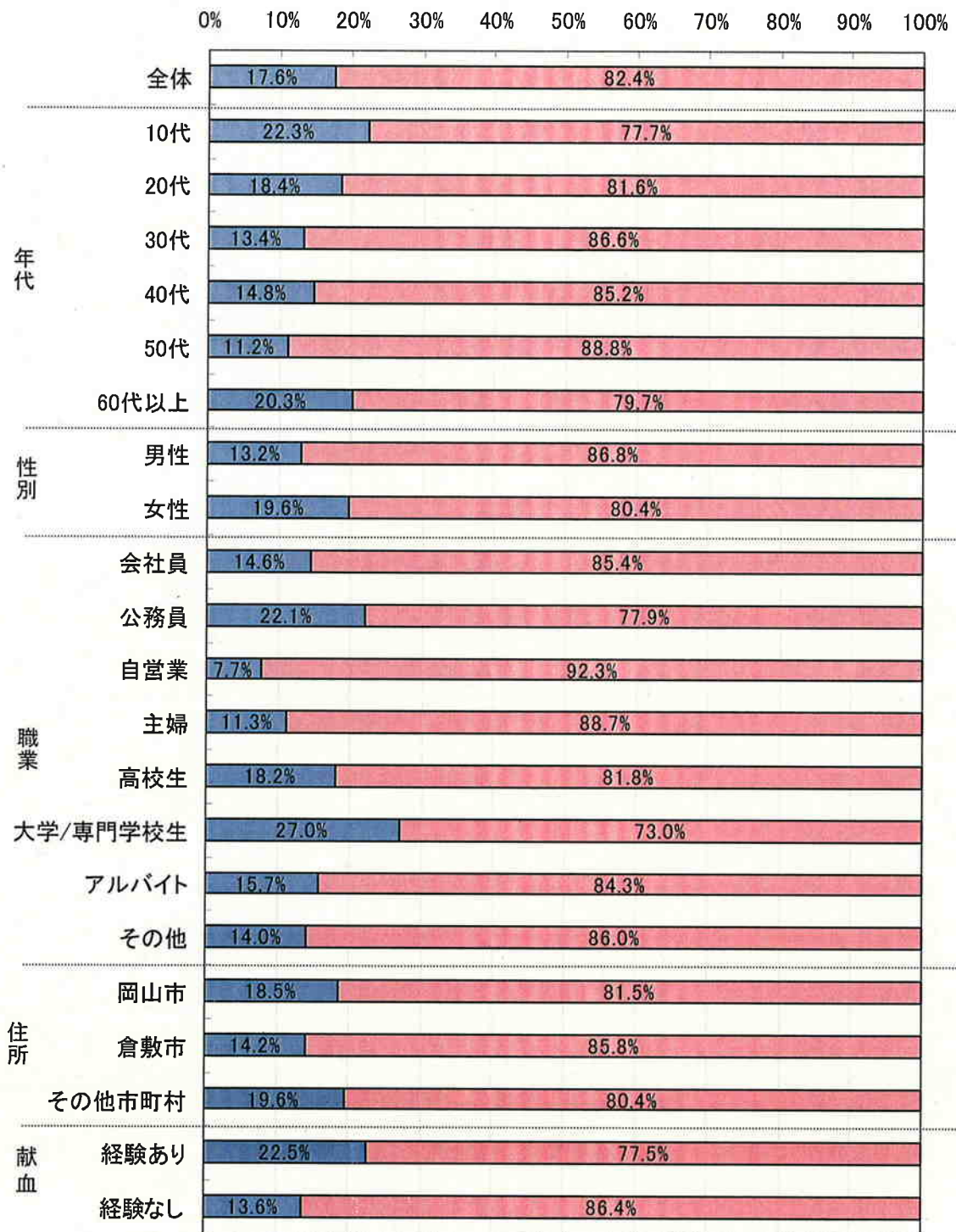
		1.知っている	2.知らない	計
全体		1,813	8,503	10,316
年代	10代	516	1,793	2,309
	20代	756	3,344	4,100
	30代	268	1,726	1,994
	40代	188	1,085	1,273
	50代	54	429	483
	60代以上	28	110	138
性別	男性	432	2,842	3,274
	女性	1,376	5,633	7,009
職業	会社員	485	2,834	3,319
	公務員	89	314	403
	自営業	15	181	196
	主婦	136	1,068	1,204
	高校生	202	910	1,112
	大学/専門学校生	652	1,767	2,419
	アルバイト	91	489	580
	その他	137	841	978
住所	岡山市	837	3,699	4,536
	倉敷市	396	2,393	2,789
	その他市町村	545	2,242	2,787
献血経験あり		1,033	3,551	4,584
献血経験なし		780	4,951	5,731





■ 1.知っている

■ 2.知らない



問 8-1. 献血推進のために県内で行われている主なキャンペーンであなたが「知っている」もの・「知らない」ものをお答えください。

愛の血液助け合い運動（毎年7～8月）

- 全体 認知率は18.5%と、認知度はまだまだ低い。
- 年代 年代が上がるにつれて認知度が高くなっている。
- 性別 女性の認知度が僅かに高い。
- 職業 主婦が30.1%と最も高く、公務員、自営業と続いている。高校生、大学／専門学校生は極端に低い。
- 住所 居住地による差異は小さい。
- 経験 献血経験者は25.7%と比較的高いが、未経験者は12.8%にとどまっている。

【人数】

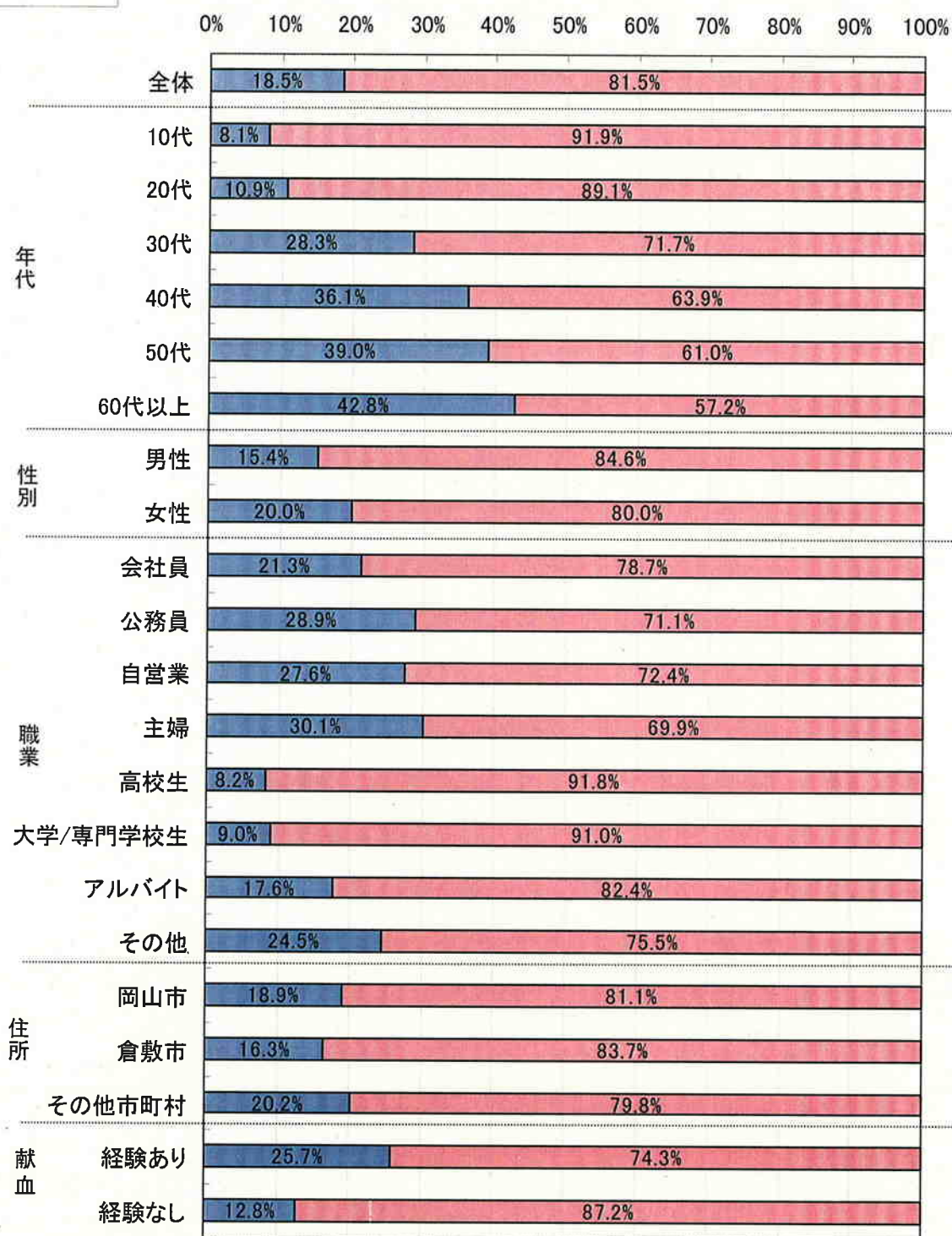
		1.知っている	2.知らない	計
全体		1,901	8,352	10,253
年代	10代	187	2,110	2,297
	20代	442	3,625	4,067
	30代	563	1,423	1,986
	40代	458	811	1,269
	50代	187	292	479
	60代以上	59	79	138
性別	男性	499	2,750	3,249
	女性	1,391	5,580	6,971
職業	会社員	702	2,590	3,292
	公務員	116	286	402
	自営業	54	142	196
	主婦	361	840	1,201
	高校生	91	1,018	1,109
	大学／専門学校生	217	2,185	2,402
	アルバイト	102	478	580
	その他	237	732	969
住所	岡山市	852	3,656	4,508
	倉敷市	453	2,321	2,774
	その他市町村	559	2,212	2,771
献血経験あり		1,174	3,388	4,562
献血経験なし		727	4,963	5,690



### 【愛の血液助け合い運動】

■ 1.知っている

■ 2.知らない





問 8-2. 献血推進のために県内で行われている主なキャンペーンであなたが「知っている」もの・「知らない」ものをお答えください。

「はたちの献血」キャンペーン（毎年1～2月）

- 全体 認知率は31.7%。3つのキャンペーンの中では最も認知度が高い。
- 年代 年代によりばらつきが大きく、40代、50代は7割以上の認知率であるが、逆に10代が7.1%、20代が21.1%と若年層の認知度が低い。
- 性別 女性が35.0%と男性を10.6ポイント上回っている。
- 職業 主婦の認知率は57.3%と最も高い。高校生は、「はたち」に達していないためか4.4%と低く、また大学/専門学校生は「はたち」の年代であるにもかかわらず、15.0%と低い。
- 住所 居住地による差異は小さい。
- 経験 献血経験者は47.0%と高いが、未経験者は19.3%に留まっている。

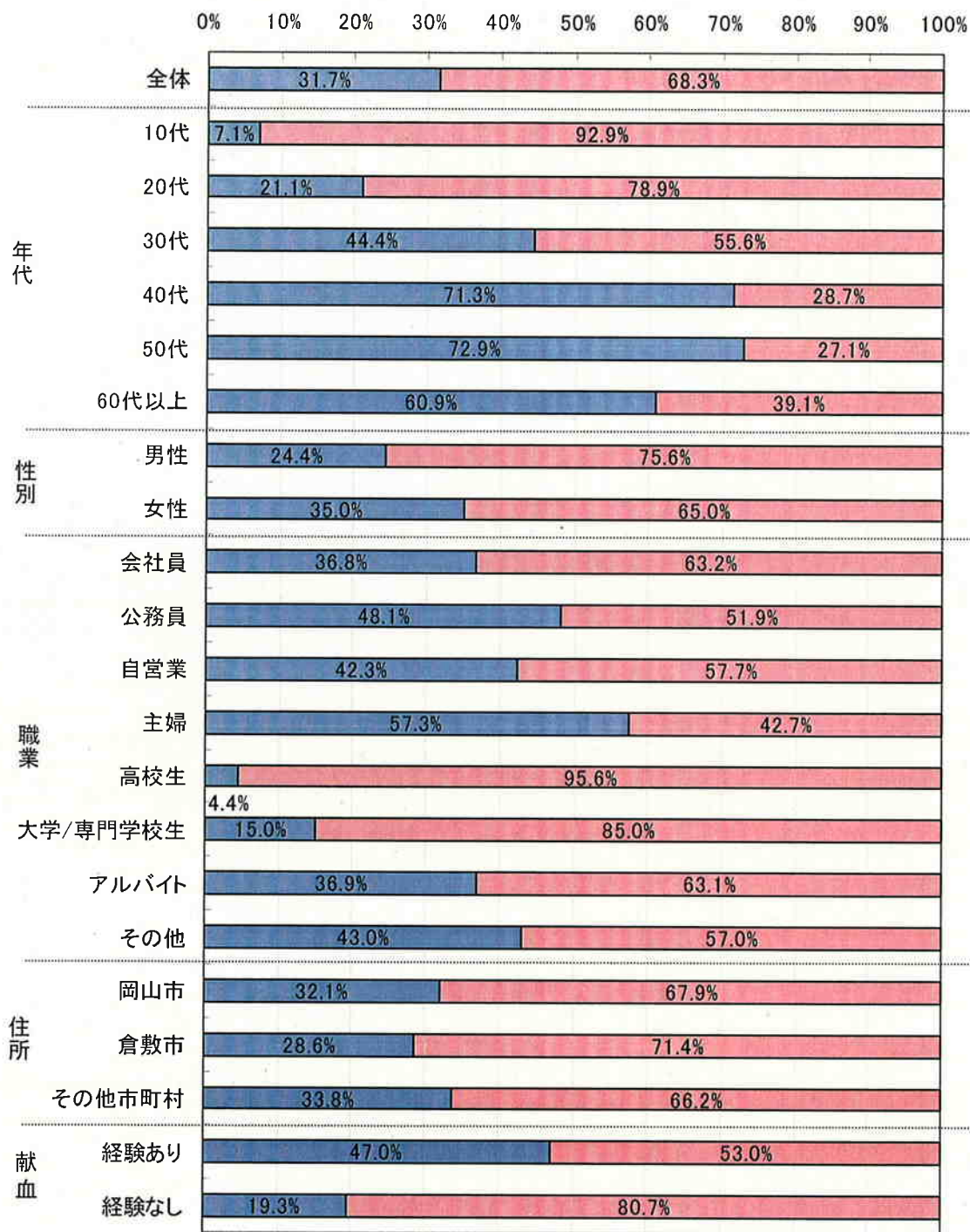
【人数】

		1.知っている	2.知らない	計
全体		3,245	7,005	10,250
年代	10代	163	2,131	2,294
	20代	859	3,208	4,067
	30代	881	1,104	1,985
	40代	906	364	1,270
	50代	349	130	479
	60代以上	84	54	138
性別	男性	792	2,456	3,248
	女性	2,440	4,529	6,969
職業	会社員	1,212	2,080	3,292
	公務員	193	208	401
	自営業	83	113	196
	主婦	689	513	1,202
	高校生	49	1,058	1,107
	大学/専門学校生	361	2,040	2,401
	アルバイト	214	366	580
	その他	417	552	969
住所	岡山市	1,448	3,061	4,509
	倉敷市	792	1,979	2,771
	その他市町村	937	1,833	2,770
献血経験あり		2,145	2,414	4,559
献血経験なし		1,100	4,590	5,690



### 【「はたちの献血」キャンペーン】

- 1.知っている
- 2.知らない





問 8 - 3. 献血推進のために県内で行われている主なキャンペーンであなたが「知っている」もの・「知らない」ものをお答えください。

「ももたろう献血」キャンペーン（毎年4～5月）

- 全体 認知率は14.6%と、3つのキャンペーンの中では最も認知度が低い。
- 年代 年代が上がるにつれて認知度は高く、最も高い60代の38.1%と、最も低い10代の8.7%、次いで低い20代の12.3%との差は大きい。
- 性別 女性が16.8%と男性を6.9%ポイント上回っている。
- 職業 公務員が23.1%、主婦が21.2%と2割を超えているが、高校生は8.1%、大学／専門学校生は10.8%と低い。
- 住所 倉敷市が10.9%と比較的低い。
- 経験 献血経験者は20.7%と比較的高いが、未経験者は9.8%に留まっている。

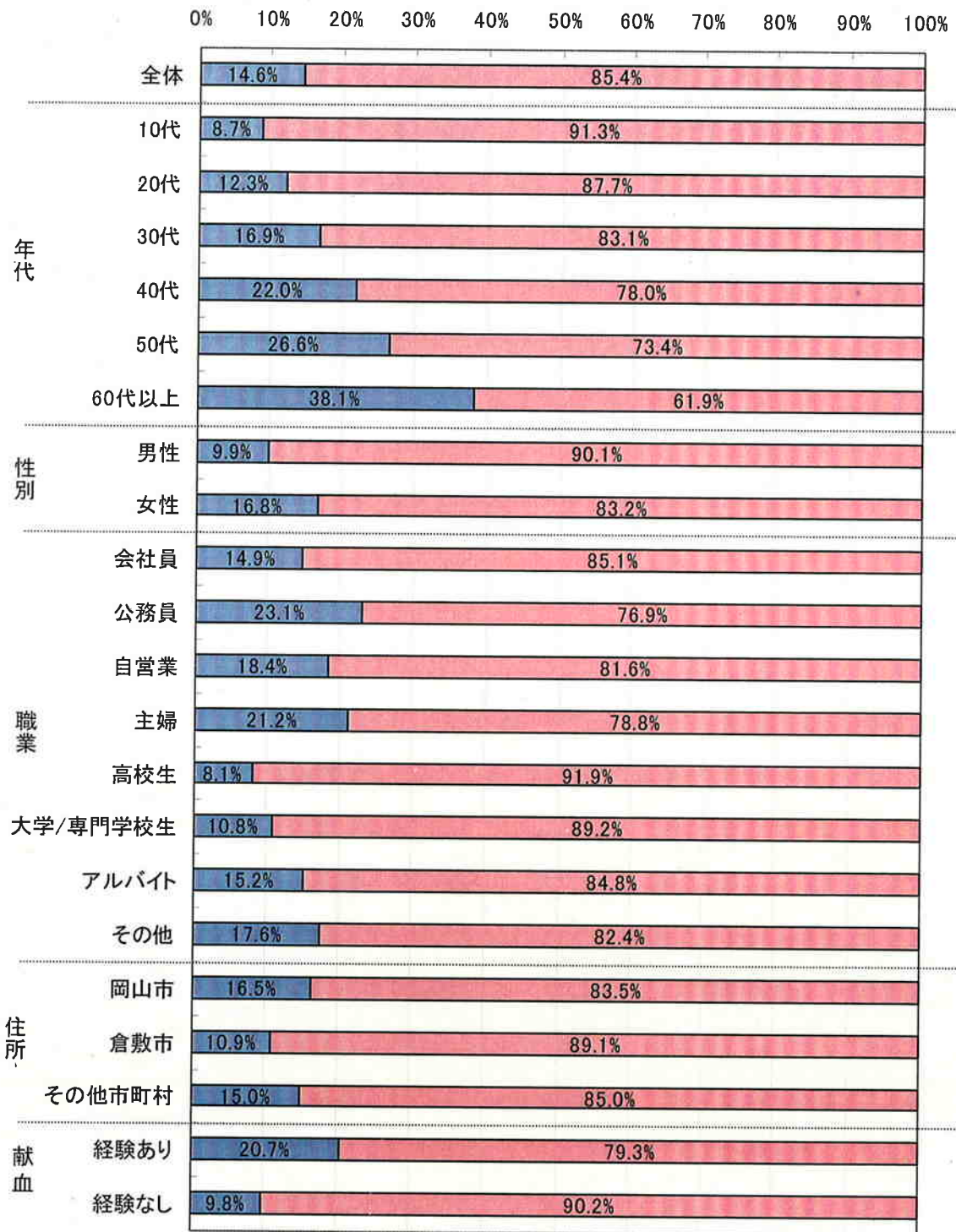
【人数】

		1.知っている	2.知らない	計
全体		1,497	8,748	10,245
年代	10代	200	2,097	2,297
	20代	501	3,565	4,066
	30代	336	1,647	1,983
	40代	278	988	1,266
	50代	127	350	477
	60代以上	53	86	139
性別	男性	321	2,927	3,248
	女性	1,172	5,792	6,964
職業	会社員	490	2,802	3,292
	公務員	92	307	399
	自営業	36	160	196
	主婦	254	943	1,197
	高校生	90	1,018	1,108
	大学／専門学校生	259	2,143	2,402
	アルバイト その他	88 171	492 798	580 969
住所	岡山市	743	3,764	4,507
	倉敷市	303	2,467	2,770
	その他市町村	415	2,353	2,768
献血経験あり		941	3,615	4,556
献血経験なし		556	5,132	5,688



### 【「ももたろう献血」キャンペーン】

- 1.知っている
- 2.知らない



問9. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 初めて献血をしたのはいつですか。

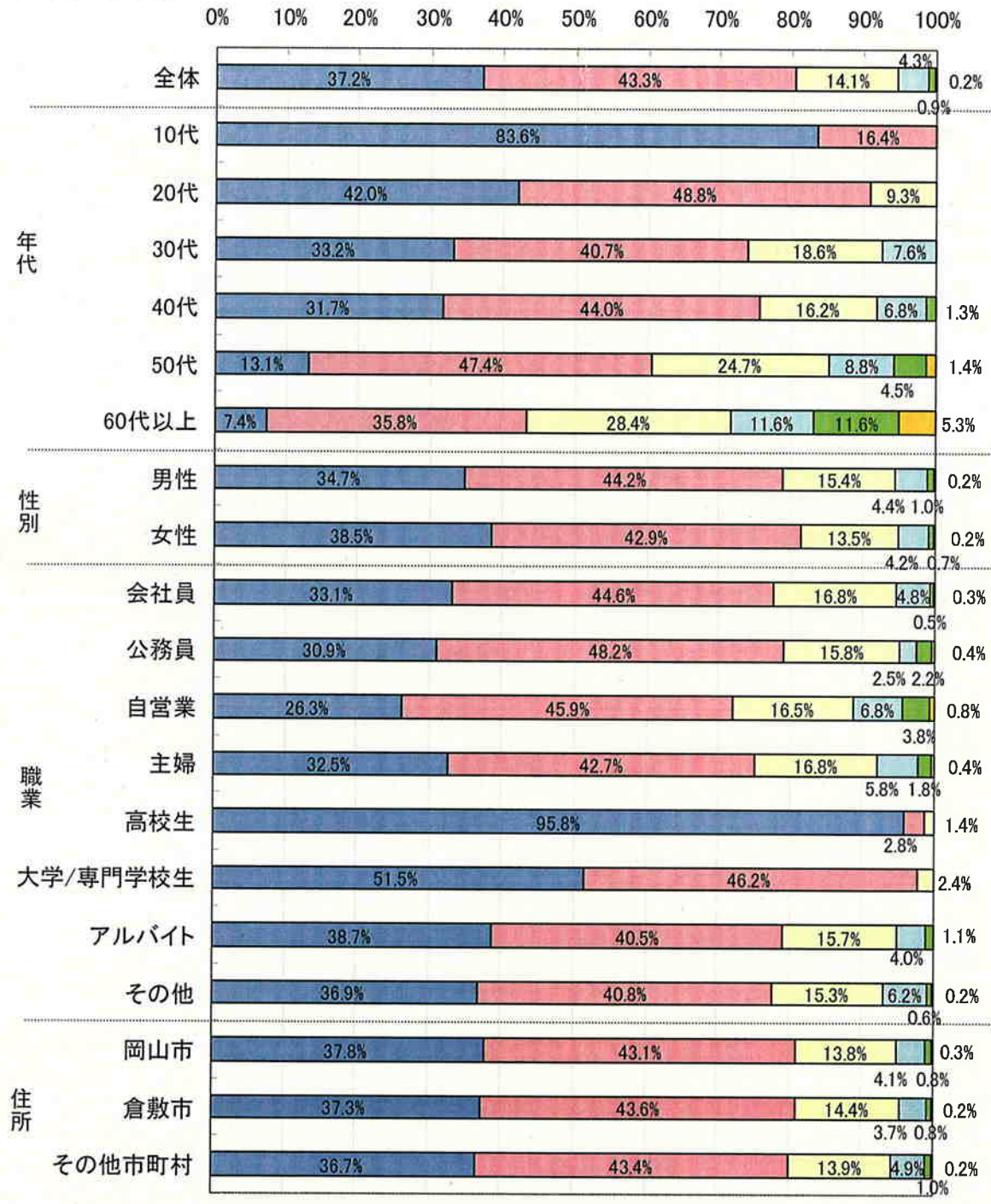
- 全体 初めて献血をした年齢は、「16～18歳」が37.2%、「19～22歳」が43.3%。16～22歳迄に献血を経験している方は全体の約8割を占めている。年代が高くなるにつれて、割合は下がっている。
  - 年代 10代を除く年代で、「19～22歳」が最も高い。
  - 性別 性別による差異はほとんどない。
  - 職業 高校生、大学／専門学校生を除くと、職業による差異はほとんどない。
  - 住所 居住地による差異はほとんどない。
  - 全国調査との比較  
全国調査では20代前半迄に献血を経験した人が6割なのに対し、岡山県では8割を占めており、若い世代の献血に対する意識は高いと考えられる。
- 全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

		1. 16～18歳	2. 19～22歳	3. 23～29歳	4. 30～39歳	5. 40～49歳	6. 50歳以上	計
全体		1,694	1,975	643	194	39	10	4,555
年代	10代	224	44	0	0	0	0	268
	20代	729	847	161	0	0	0	1,737
	30代	393	482	220	90	0	0	1,185
	40代	289	401	148	62	12	0	912
	50代	46	167	87	31	16	5	352
	60代以上	7	34	27	11	11	5	95
性別	男性	552	703	245	70	16	3	1,589
	女性	1,135	1,266	396	123	22	6	2,948
職業	会社員	625	842	317	89	9	5	1,887
	公務員	86	134	44	7	6	0	277
	自営業	35	61	22	9	5	1	133
	主婦	231	303	119	41	13	3	710
	高校生	68	2	0	0	0	0	70
	大学／専門学校生	348	312	16	0	0	0	676
	アルバイト	106	111	43	11	3	0	274
	その他	179	198	74	30	3	1	485
住所	岡山市	761	867	278	81	17	6	2,010
	倉敷市	439	513	168	44	10	2	1,176
	その他市町村	461	546	175	61	12	2	1,257



- 1. 16～18歳
- 2. 19～22歳
- 3. 23～29歳
- 4. 30～39歳
- 5. 40～49歳
- 6. 50歳以上



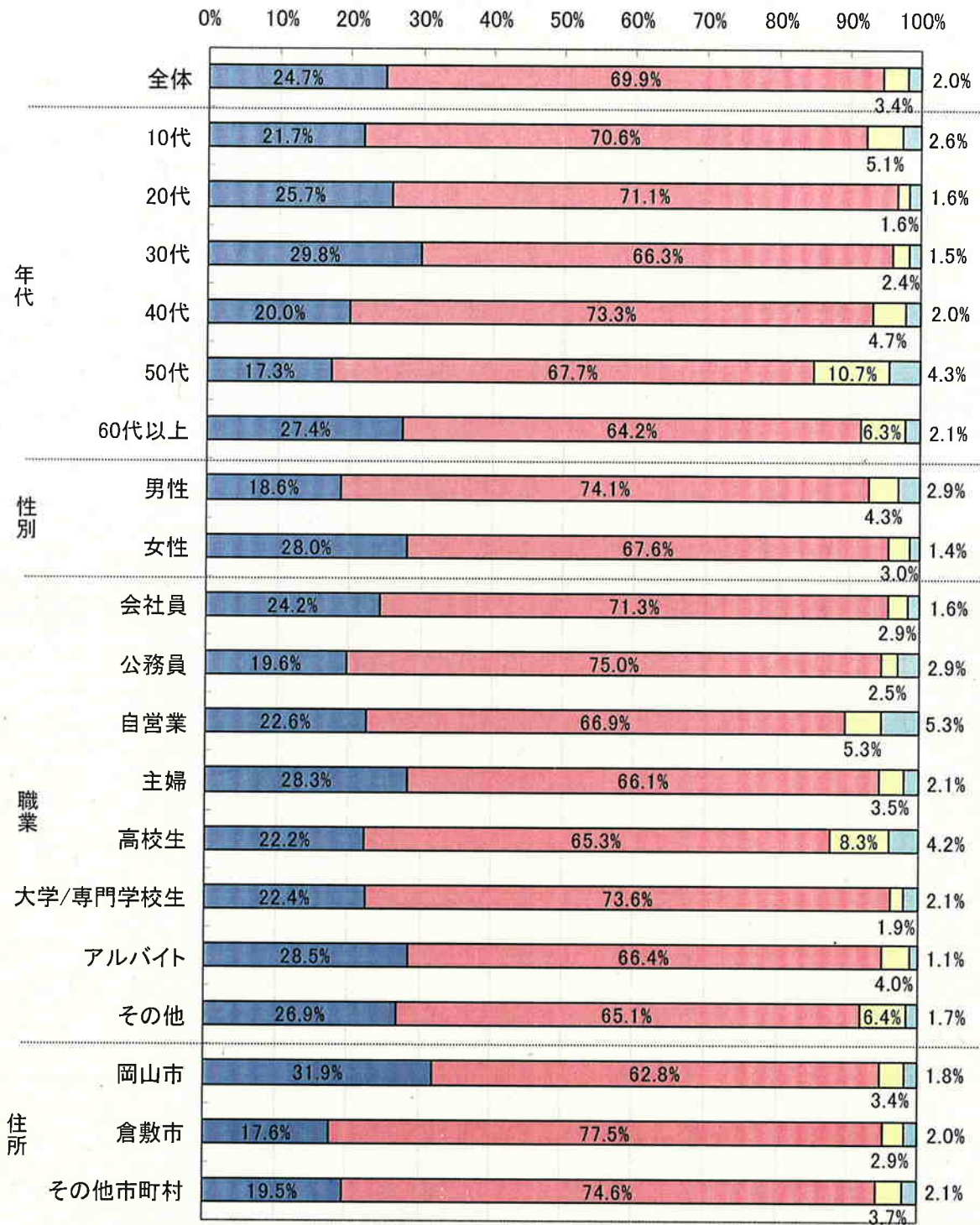
問10-1. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 初めて献血をした場所はどこですか。

- 全体 最も多いのは「献血バス」で69.9%。次いで献血ルーム（血液センター）で24.7%。
- 年代 全ての年代の6～7割が「献血バス」で初めて献血をしている。
- 性別 女性は男性に比べ「献血ルーム（血液センター）」の割合が高い。
- 職業 アルバイト、主婦は、他の職業に比べ「献血ルーム（血液センター）」の割合が高く、また、公務員、高校生、大学／専門学校生は、他の職業に比べ「献血バス」の割合が高い。
- 住所 岡山市居住者は、他地域居住者に比べ「献血ルーム（血液センター）」の割合が高い。これは、献血ルームと血液センターが岡山市に所在しているためと考えられる。また、倉敷市に在住の方は、他地域に比べ、「献血バス」の割合が高い。

【人数】

		1.献血ルーム (血液センター)	2.献血バス	3.覚えていない	4.その他	計
全体		1,125	3,176	156	89	4,546
年代	10代	59	192	14	7	272
	20代	445	1,233	27	28	1,733
	30代	353	786	29	18	1,186
	40代	181	665	43	18	907
	50代	60	235	37	15	347
	60代以上	26	61	6	2	95
性別	男性	295	1,173	68	46	1,582
	女性	825	1,992	87	42	2,946
職業	会社員	455	1,339	54	30	1,878
	公務員	54	207	7	8	276
	自営業	30	89	7	7	133
	主婦	202	471	25	15	713
	高校生	16	47	6	3	72
	大学／専門学校生	151	496	13	14	674
	アルバイト	78	182	11	3	274
	その他	130	315	31	8	484
住所	岡山市	639	1,258	69	36	2,002
	倉敷市	207	909	34	23	1,173
	その他市町村	245	939	47	27	1,258

- 1.献血ルーム(血液センター)
- 2.献血バス
- 3.覚えていない
- 4.その他





問10-2. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。)  
問10-1で「献血バス」を選択された方は、どの場所で「献血バス」を利用されたか。

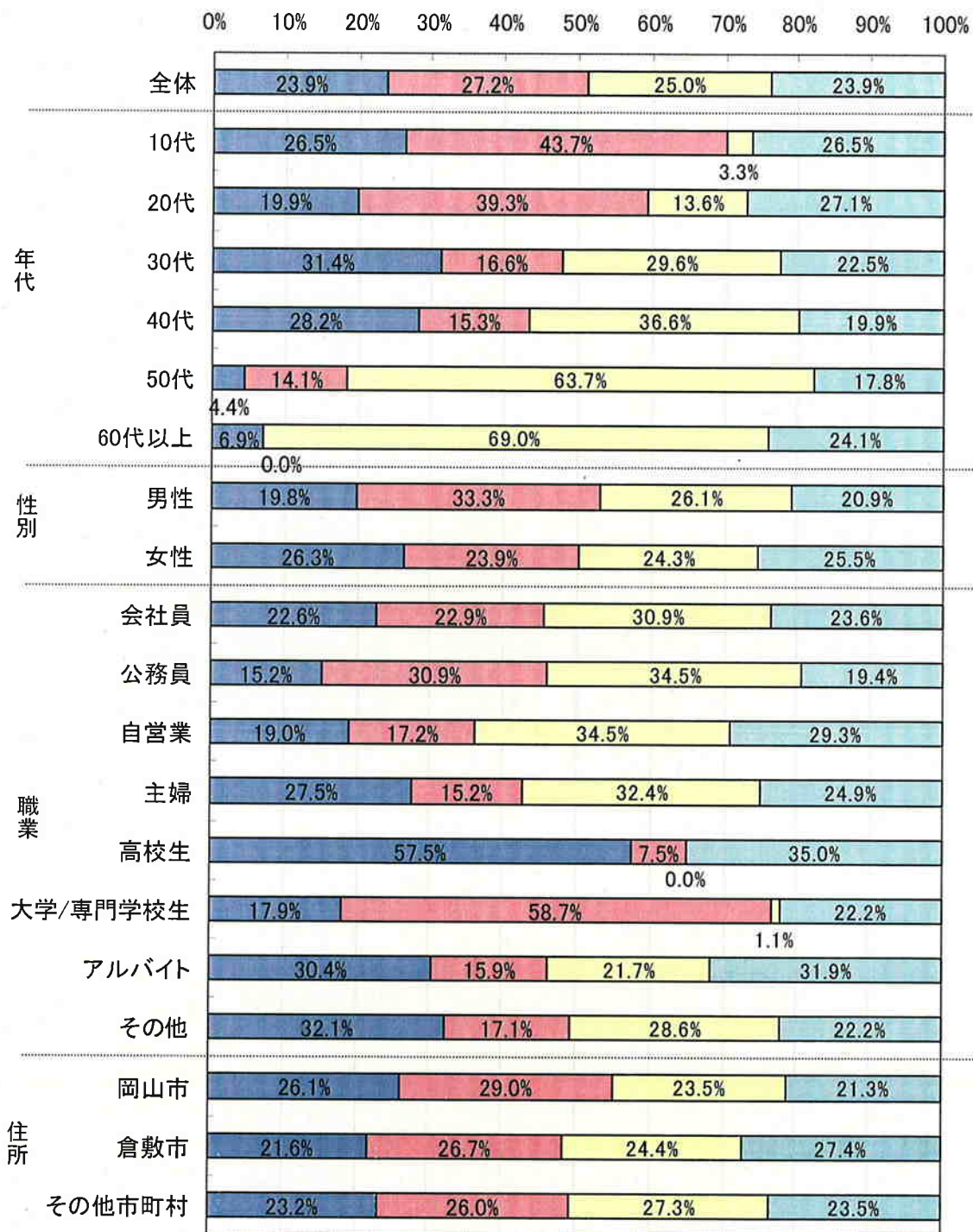
- 全体 すべての選択肢（「高校」、「大学・専門学校」、「勤務先」、「ショッピングモールなど」）がほぼ同率となっている。
  - 年代 10代、20代は、「大学・専門学校」が最も高く、次いで、「高校」、「ショッピングモールなど」が同程度となっている。また、年代が上がるにつれて「勤務先」が高くなっている。
  - 性別 性別による差異はほとんどないが、男性は女性に比べ、「大学・専門学校」が若干高い。
  - 職業 高校生、大学／専門学校生を除くと、ほぼ同率となっている。
  - 住所 居住地による差異はほとんどないが、倉敷市は他の地域に比べ、「ショッピングモールなど」が高い。
  - 全国調査との比較  
岡山県では職場で献血を受けた方が25%を占めているのに対し、全国では全体の5.2%程度である。岡山県では「勤務先」に来る献血バスで献血を受ける人が多いと考えられる。
- 「全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

		1.高校	2.大学・専門学校	3.勤務先	4.ショッピングモールなど	計
全体		599	682	625	598	2,504
年代	10代	40	66	5	40	151
	20代	210	415	144	286	1,055
	30代	197	104	186	141	628
	40代	142	77	184	100	503
	50代	6	19	86	24	135
	60代以上	2	0	20	7	29
性別	男性	180	303	238	190	911
	女性	417	378	385	403	1,583
職業	会社員	236	239	322	246	1,043
	公務員	25	51	57	32	165
	自営業	11	10	20	17	58
	主婦	96	53	113	87	349
	高校生	23	3	0	14	40
	大学／専門学校生	78	256	5	97	436
	アルバイト	42	22	30	44	138
	その他	81	43	72	56	252
住所	岡山市	256	284	230	209	979
	倉敷市	158	195	178	200	731
	その他市町村	172	193	202	174	741



- 1.高校
- 2.大学・専門学校
- 3.勤務先
- 4.ショッピングモールなど





問11-1. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。)  
現在はどこで献血をすることが多いですか。

- 全体 「献血バス」で献血をする人が57.2%。次いで「献血ルーム（血液センター）」が38.2%。問10-1の初めて献血場所と傾向は同じである。
- 年代 どの年代も「献血バス」で献血する人が多いのには変わらないが、20代・30代は他の年代に比べると「献血ルーム（血液センター）」が高くなっている。
- 性別 女性は男性に比べ「献血ルーム（血液センター）」で受ける割合が高い。
- 職業 すべての職業で「献血バス」が高い。アルバイト、大学／専門学校生、会社員、主婦は、他の職業に比べ「献血ルーム（血液センター）」の割合が高い。
- 住所 岡山市居住者は、他地域居住者に比べ「献血ルーム（血液センター）」の割合が高く、倉敷市居住者は、他地域居住者に比べ「献血バス」の割合が高い。

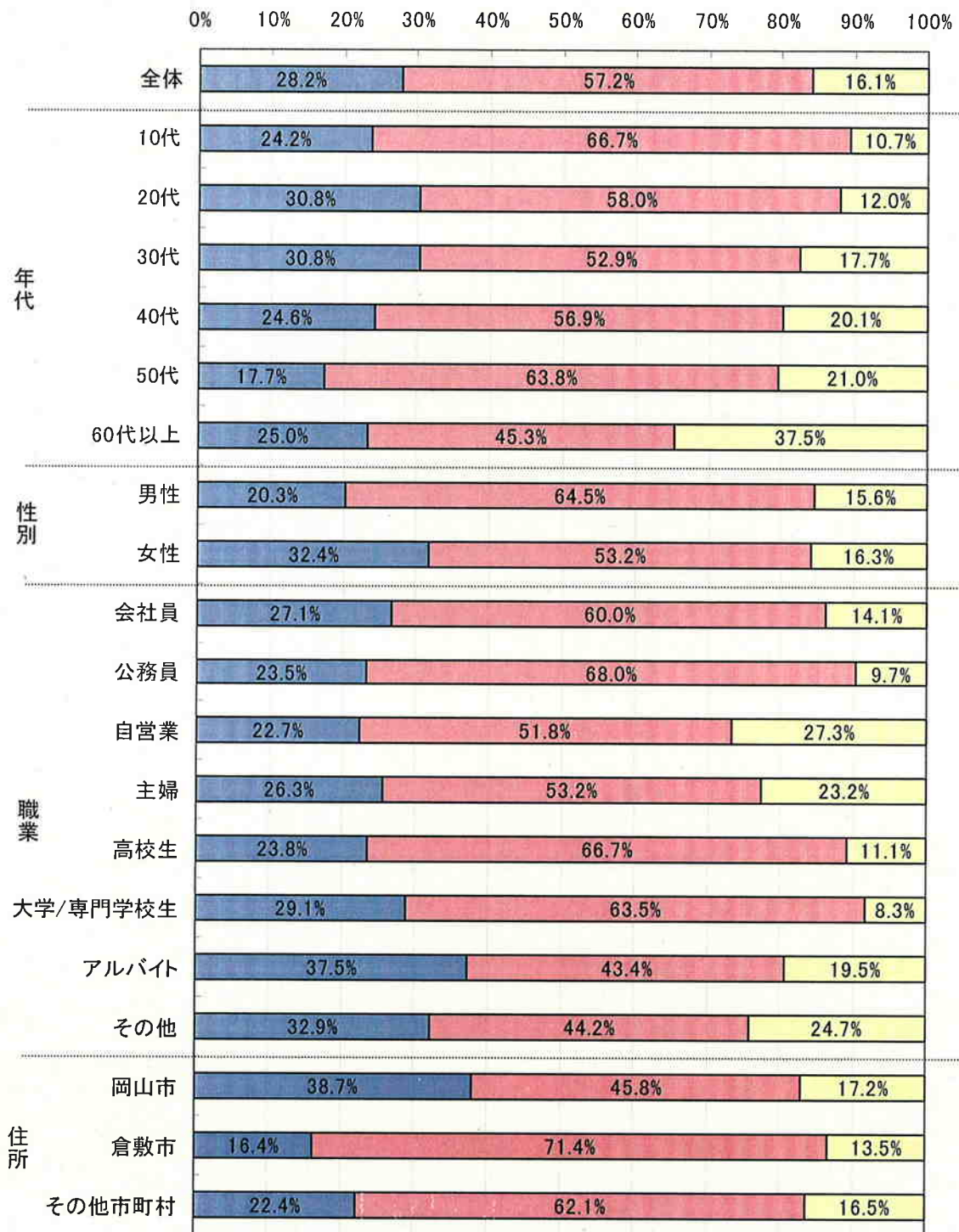
【人数】

		1.献血ルーム (血液センター)	2.献血バス	3.その他	計
全体		1,132	2,299	646	4,021
年代	10代	61	168	27	252
	20代	486	916	190	1,579
	30代	324	556	186	1,051
	40代	196	454	160	798
	50代	48	173	57	271
	60代以上	16	29	24	64
性別	男性	285	905	219	1,404
	女性	845	1,387	424	2,605
職業	会社員	446	987	232	1,646
	公務員	58	168	24	247
	自営業	25	57	30	110
	主婦	156	316	138	594
	高校生	15	42	7	63
	大学／専門学校生	188	411	54	647
	アルバイト	94	109	49	251
	その他	143	192	107	434
住所	岡山市	678	802	302	1,753
	倉敷市	173	754	143	1,056
	その他市町村	252	698	186	1,124

■ 1.献血ルーム(血液センター)

■ 2.献血バス

□ 3.その他



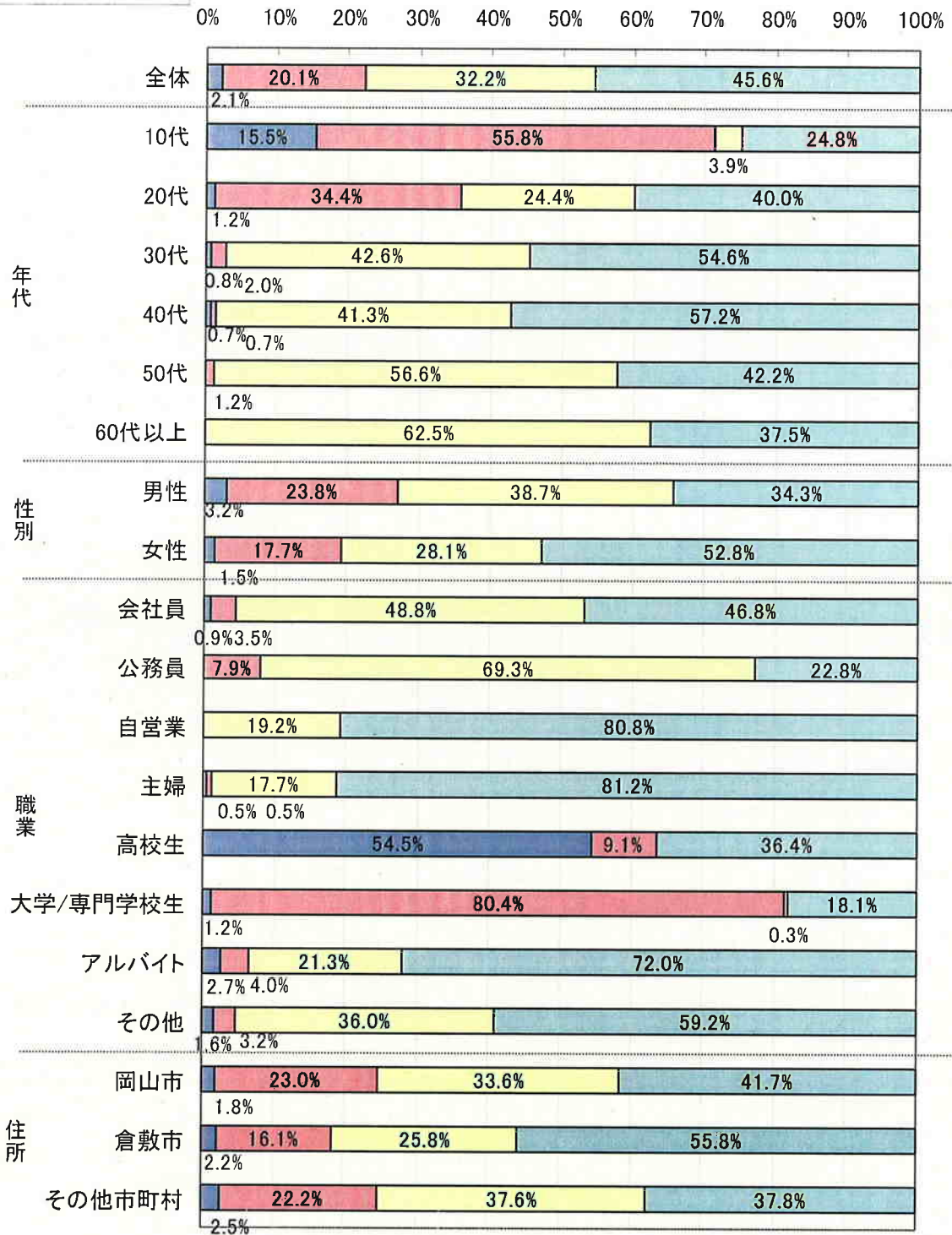
問11-2. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。)  
 問11-1で「献血バス」を選択された方は、どの場所で「献血バス」を利用されているか。

- 全体 「ショッピングセンターなど」が最も高く45.6%、「勤務先」32.2%、「大学・専門学校」が20.1%、「高校」は2.1%。
- 年代 10代は「大学・専門学校」、20代、30代、40代は「ショッピングモールなど」、50代、60代は「勤務先」が最も多い。また、年齢が上がるにつれて「勤務先」が高くなっている。
- 性別 女性は男性に比べ「ショッピングモールなど」が高く、男性は「勤務先」が高い。
- 職業 大学／専門学校生は「大学・専門学校」、公務員は「勤務先」、高校生は「高校」が高く、身近な献血会場を利用していることが推測できる。また、主婦、自営業、アルバイトは「ショッピングモールなど」が高い。
- 住所 各地域とも傾向は同じであるが、倉敷市居住者の半数以上の方が「ショッピングモール」で献血をしている。

【人数】

		1.高校	2.大学・専門学校	3.勤務先	4.ショッピングモールなど	計
全体		33	311	499	707	1,550
年代	10代	20	72	5	32	129
	20代	8	227	161	264	660
	30代	3	8	167	214	392
	40代	2	2	114	158	276
	50代	0	1	47	35	83
	60代以上	0	0	5	3	8
性別	男性	19	143	232	206	600
	女性	14	167	265	498	944
職業	会社員	6	23	316	303	648
	公務員	0	9	79	26	114
	自営業	0	0	5	21	26
	主婦	1	1	33	151	186
	高校生	18	3	0	12	33
	大学／専門学校生	4	266	1	60	331
	アルバイト	2	3	16	54	75
	その他	2	4	45	74	125
住所	岡山市	9	117	171	212	509
	倉敷市	12	87	139	301	539
	その他市町村	12	105	178	179	474

- 1.高校
- 2.大学・専門学校
- 3.勤務先
- 4.ショッピングモールなど





問12. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 初めての献血の種類は何でしたか。

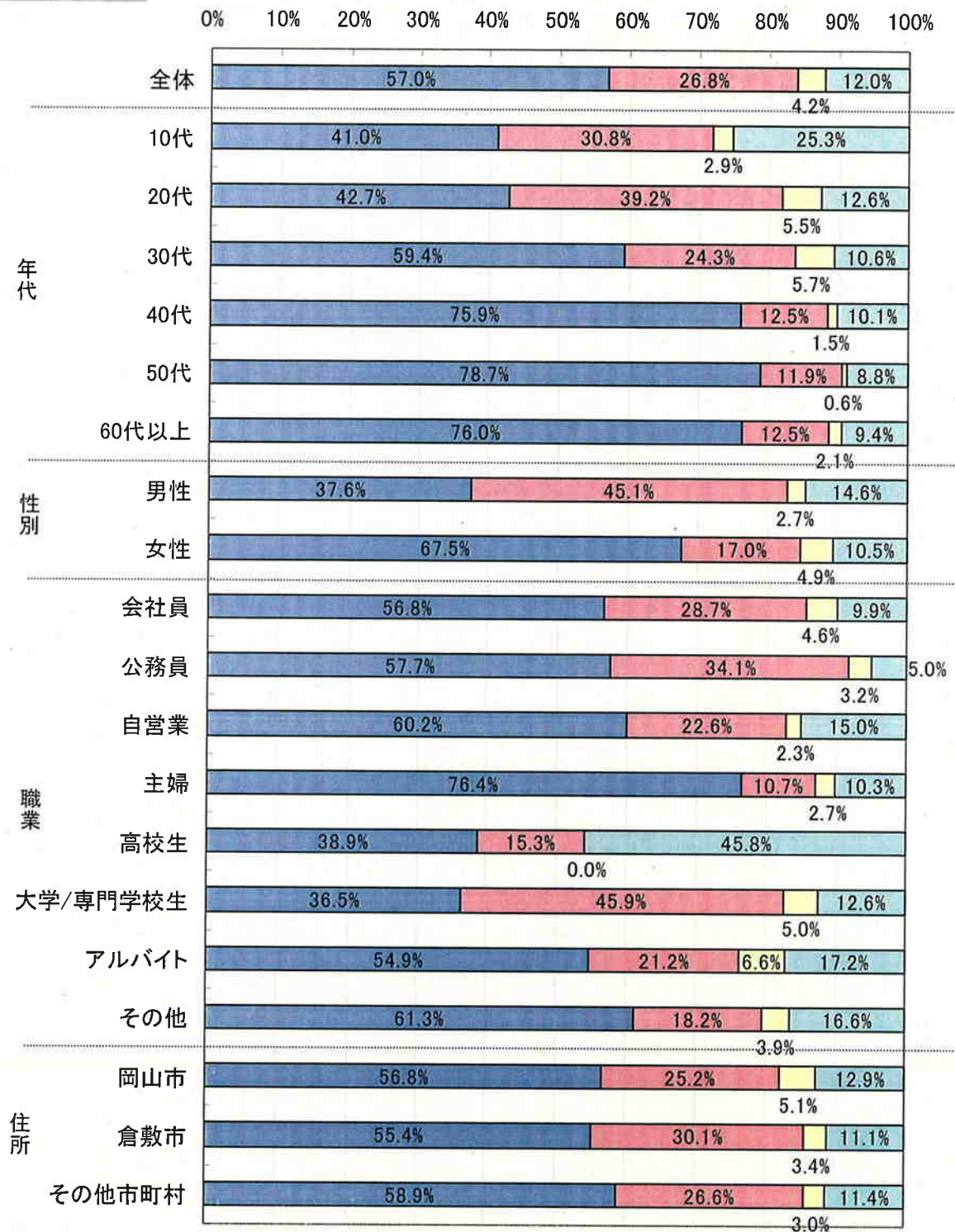
■全体	57.0%が「200mL献血」、26.8%が「400mL献血」、4.2%が「成分献血」。
■年代	すべての年齢で「200mL献血」が高く、特に40代以上は7割以上を占めている。また、10代、20代は「200mL献血」と「400mL献血」は同程度となっている。
■性別	女性の約7割が最初の献血は「200mL献血」であり、逆に、男性の約半数が「400mL献血」となっている。
■職業	主婦の7割以上が「200mL献血」であり、大学／専門学校生の約半数が「400mL献血」となっている。他の職業は、約6割が「200mL献血」である。また、高校生の約半数が「覚えていない」と回答している。
■住所	居住地による差異はほとんどない。
■全国調査との比較	献血の種類に関する数値には大きな差異は見られない。

全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

		1.200mL献血	2.400mL献血	3.成分献血	4.覚えていない	計
全体		2,601	1,223	190	547	4,561
年代	10代	112	84	8	69	273
	20代	740	680	95	219	1,734
	30代	705	288	68	126	1,187
	40代	693	114	14	92	913
	50代	277	42	2	31	352
	60代以上	73	12	2	9	96
性別	男性	598	717	43	233	1,591
	女性	1,993	502	146	311	2,952
職業	会社員	1,071	542	86	187	1,886
	公務員	161	95	9	14	279
	自営業	80	30	3	20	133
	主婦	543	76	19	73	711
	高校生	28	11	0	33	72
	大学／専門学校生	247	311	34	85	677
	アルバイト	150	58	18	47	273
	その他	299	89	19	81	488
住所	岡山市	1,142	507	103	259	2,011
	倉敷市	653	355	40	131	1,179
	その他市町村	741	335	38	144	1,258

- 1.200mL献血
- 2.400mL献血
- 3.成分献血
- 4.覚えていない



問13. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。)  
 今までの合計献血回数は何回ですか。

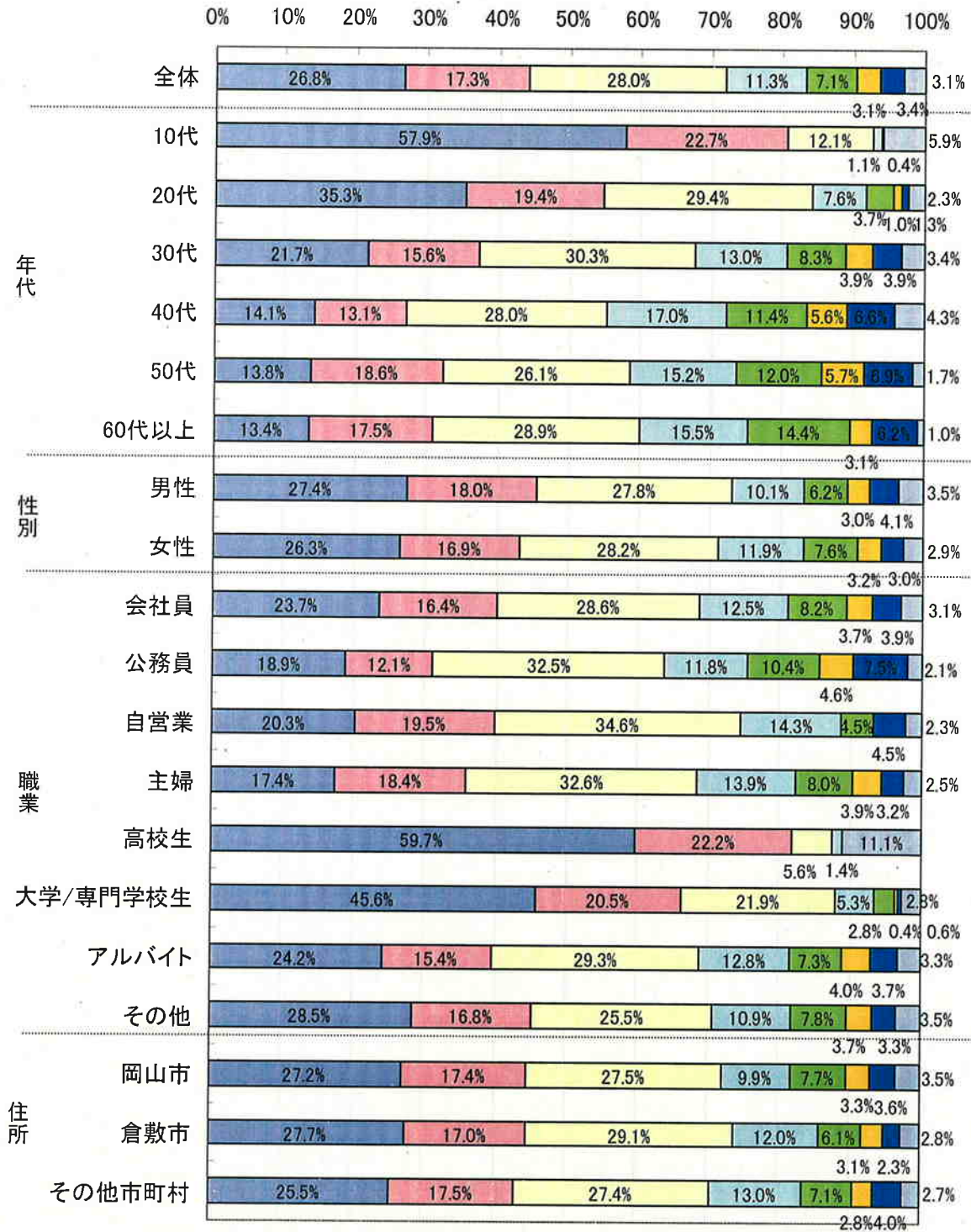
- 全体 「3～5回」が28.0%と最も高く、次いで「1回」26.8%、「2回」が17.3%、「6～10回」が11.3%、「11～20回」が7.1%と続いている。
  - 年代 10代、20代は「1回」が高く、30代以降は「3～5回」が高い。
  - 性別 性別による差異はほとんどない。
  - 職業 高校生、大学／専門学校生は「1回」が最も高く、他の職業は「3～5回」が高い。
  - 住所 居住地による差異はほとんどない。
  - 全国調査との比較  
 全国調査では、「1回」が33.7%で最も高く、次いで、「3～5回」26.2%となっており、岡山県と同様に上位を占めている。
- 全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

		1回	2回	3～5回	6～10回	11～20回	21～30回	31回以上	わからない	計
全体		1,221	788	1,279	514	324	143	153	142	4,564
年代	10代	158	62	33	3	1	0	0	16	273
	20代	614	338	511	132	65	22	17	40	1,739
	30代	257	185	359	154	98	46	46	40	1,185
	40代	129	120	256	156	104	51	60	39	915
	50代	48	65	91	53	42	20	24	6	349
	60代以上	13	17	28	15	14	3	6	1	97
性別	男性	436	287	442	161	98	48	65	55	1,592
	女性	778	498	832	351	226	95	88	87	2,955
職業	会社員	447	309	540	237	155	69	73	59	1,889
	公務員	53	34	91	33	29	13	21	6	280
	自営業	27	26	46	19	6	0	6	3	133
	主婦	124	131	232	99	57	28	23	18	712
	高校生	43	16	4	1	0	0	0	8	72
	大学／専門学校生	309	139	148	36	19	3	4	19	677
	アルバイト	66	42	80	35	20	11	10	9	273
	その他	139	82	124	53	38	18	16	17	487
住所	岡山市	548	350	555	199	156	66	72	70	2,016
	倉敷市	326	200	343	141	72	36	27	33	1,178
	その他市町村	321	220	345	164	89	35	50	34	1,258



- 1. 1回
- 2. 2回
- 3. 3～5回
- 4. 6～10回
- 5. 11～20回
- 6. 21～30回
- 7. 31回以上



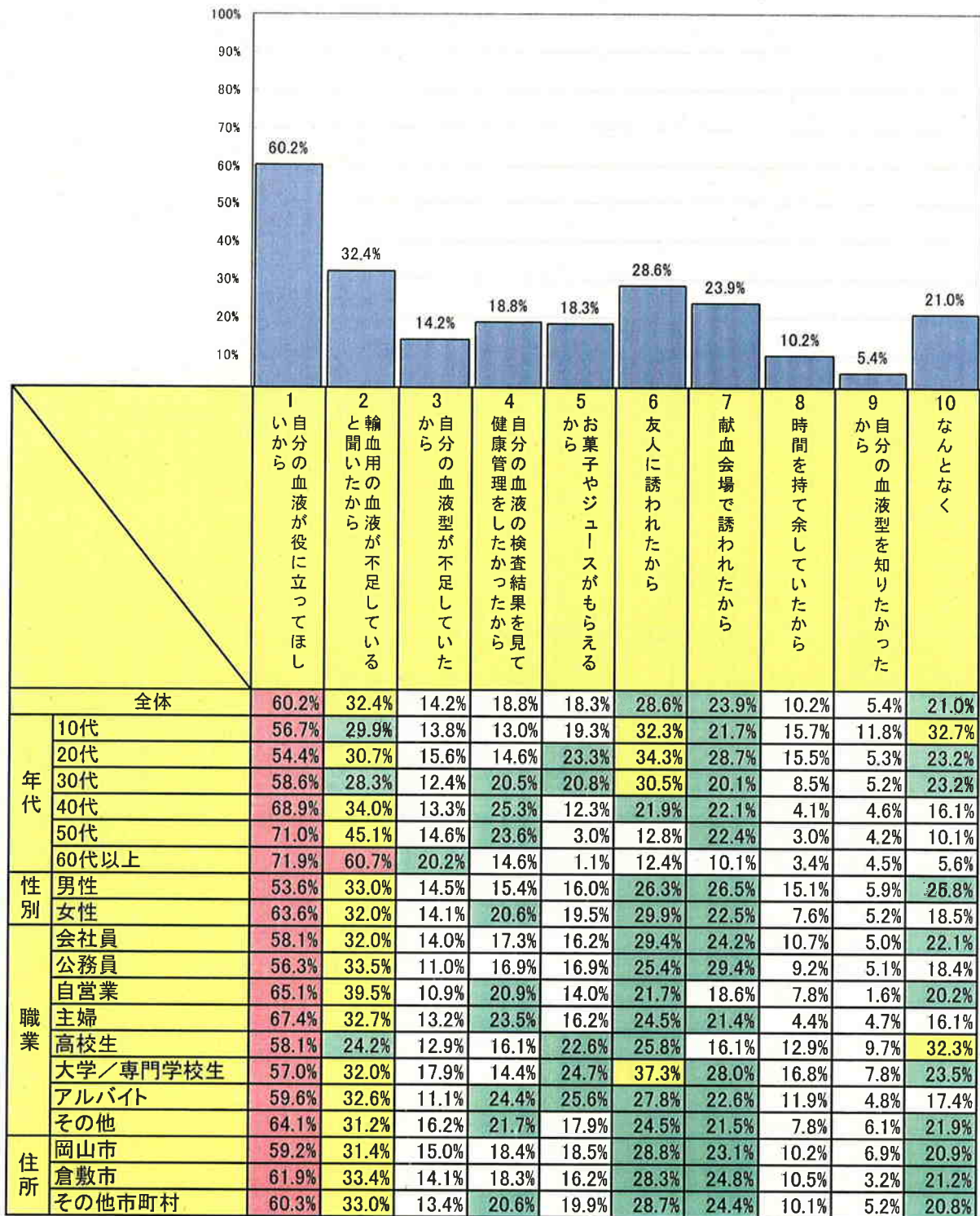


問14-1. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。)  
 献血のきっかけは次のうちどれですか？  
 初めて献血をした際にきっかけとなったもの  
 (当てはまるものを3つ選んでください。)

- 全体 「自分の血液が役に立ってほしいから」が60.2%と最も高く、次いで「輸血用の血液が不足していると聞いたから」が32.4%、「友人に誘われたから」が28.6%、「献血会場で誘われたから」が23.9%、「なんとなく」が21.0%と続いている。
  - 年代 すべての年代で「自分の血液が役に立ってほしいから」が最も高い。また、10代、20代、30代は「友人に誘われたから」が2番目に高く、40代、50代、60代は「輸血用の血液が不足していると聞いたから」が高い。また、40代、50代は「自分の血液の検査結果を見て健康管理をしたかったから」が3番目に高い。
  - 性別 男女とも、1番目、2番目は変わらない。男女の相違点は、男性は「なんとなく」が高く、女性は「自分の血液の検査結果を見て健康管理をしたかったから」が高い。
  - 職業 高校生、大学／専門学校生を除くと、ほぼ同様の傾向となっている。高校生は「なんとなく」が、大学／専門学校生は「友人に誘われたから」が2番目に高くなっている。
  - 住所 居住地による差異はほとんどない。
  - 全国調査との比較  
 全国調査も同じく「自分の血液が役に立ってほしいから」が61.0%と圧倒的に高く、次いで「輸血用の血液が不足していると聞いたから」が39.1%と高くなっている。
- 全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

		1 い から	2 と 聞 い た か ら	3 か ら	4 自 分 の 血 液 の 検 査 結 果 を 見 て	5 か ら	6 友 人 に 誘 わ れ た か ら	7 献 血 会 場 で 誘 わ れ た か ら	8 時 間 を 持 て 余 し て い た か ら	9 か ら	10 な ん と な く	総 回 答 者 数
全体		2,677	1,442	632	838	812	1,274	1,061	453	241	933	4,447
年代	10代	144	76	35	33	49	82	55	40	30	83	254
	20代	928	524	266	249	398	585	489	264	91	396	1,705
	30代	682	329	144	238	242	355	234	99	61	270	1,163
	40代	616	304	119	226	110	196	198	37	41	144	894
	50代	238	151	49	79	10	43	75	10	14	34	335
	60代以上	64	54	18	13	1	11	9	3	4	5	89
性別	男性	818	504	221	235	245	402	405	231	90	394	1,527
	女性	1,846	929	409	598	565	868	654	220	151	536	2,901
職業	会社員	1,066	588	256	318	298	539	444	196	91	406	1,835
	公務員	153	91	30	46	46	69	80	25	14	50	272
	自営業	84	51	14	27	18	28	24	10	2	26	129
	主婦	470	228	92	164	113	171	149	31	33	112	697
	高校生	36	15	8	10	14	16	10	8	6	20	62
	大学／専門学校生	379	213	119	96	164	248	186	112	52	156	665
	アルバイト	161	88	30	66	69	75	61	32	13	47	270
	その他	304	148	77	103	85	116	102	37	29	104	474
住所	岡山市	1,157	614	293	360	361	563	452	199	135	409	1,953
	倉敷市	712	384	162	210	186	326	285	121	37	244	1,150
	その他市町村	744	407	165	254	245	354	301	124	64	257	1,233



... 50%以上  
 ... 30%以上  
 ... 20%以上

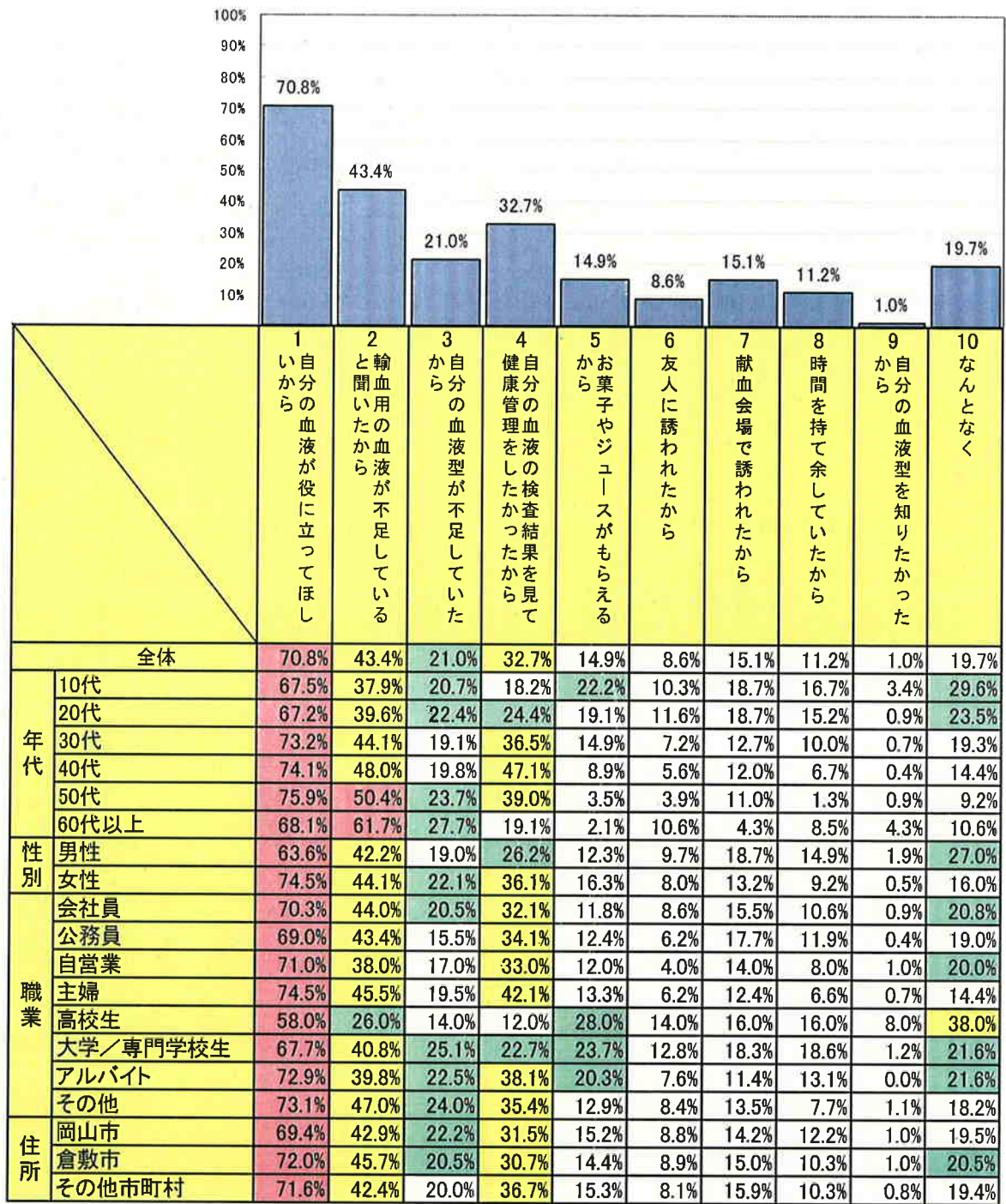
問14-2. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。)  
 献血のきっかけは次のうちどれですか?  
 現在献血をするきっかけとなっているもの  
 (当てはまるものを3つ選んでください。)

- 全体 「自分の血液が役に立ってほしいから」が70.8%と最も高く、次いで「輸血用の血液が不足していると聞いたから」が43.4%、「自分の血液の検査結果を見て健康管理をしたかったから」が32.7%、「自分の血液型が不足していたから」が21.0%と続いている。
  - 年代 すべての年代で「自分の血液が役に立ってほしいから」が最も高く、次いで「輸血用の血液が不足していると聞いたから」が続いている。20代、30代、40代、50代は「自分の血液の検査結果を見て健康管理をしたかったから」が3番目に高い。
  - 性別 男女とも、1番目、2番目は変わらない。男性は3番目に「なんとなく」、4番目に「自分の血液の検査結果を見て健康管理をしたかったから」に対し、女性は3番目に「自分の血液の検査結果を見て健康管理をしたかったから」、4番目に「自分の血液型が不足していたから」となっている。
  - 職業 高校生を除くと、ほぼ同様の傾向となっている。高校生は「なんとなく」が2番目に、「お菓子やジュースがもらえるから」が3番目となっている。
  - 住所 居住地による差異はほとんどない。
  - 全国調査との比較  
 全国調査も同じく「自分の血液が役に立ってほしいから」45.3%と圧倒的に高く、次いで「輸血用の血液が不足していると聞いたから」が11.7%と高くなっている。
- 全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

		1 い から	2 と 聞 いた から	3 か ら	4 自 分 の 血 液 の 検 査 結 果 を 見 て	5 か ら	6 友 人 に 誘 わ れ た か ら	7 献 血 会 場 で 誘 わ れ た か ら	8 時 間 を 持 て 余 し て い た か ら	9 か ら	10 な ん と な く	総 回 答 者 数
全体		2,545	1,562	756	1,175	537	310	542	402	35	710	3,596
年代	10代	137	77	42	37	45	21	38	34	7	60	203
	20代	961	566	320	349	274	166	267	217	13	336	1,431
	30代	695	419	181	347	142	68	121	95	7	183	950
	40代	542	351	145	344	65	41	88	49	3	105	731
	50代	173	115	54	89	8	9	25	3	2	21	228
	60代以上	32	29	13	9	1	5	2	4	2	5	47
性別	男性	786	521	235	323	152	120	231	184	23	333	1,235
	女性	1,751	1,035	520	849	382	189	309	217	12	376	2,349
職業	会社員	1,037	649	302	473	174	127	229	157	14	307	1,475
	公務員	156	98	35	77	28	14	40	27	1	43	226
	自営業	71	38	17	33	12	4	14	8	1	20	100
	主婦	398	243	104	225	71	33	66	35	4	77	534
	高校生	29	13	7	6	14	7	8	8	4	19	50
	大学／専門学校生	385	232	143	129	135	73	104	106	7	123	569
	アルバイト	172	94	53	90	48	18	27	31	0	51	236
	その他	277	178	91	134	49	32	51	29	4	69	379
住所	岡山市	1,083	669	346	492	238	138	222	191	15	305	1,561
	倉敷市	668	424	190	285	134	83	139	96	9	190	928
	その他市町村	732	433	204	375	156	83	163	105	8	198	1,022





... 50%以上  
 ... 30%以上  
 ... 20%以上



問15-1. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。)  
 献血会場のサービスについて教えてください。  
 《雰囲気》

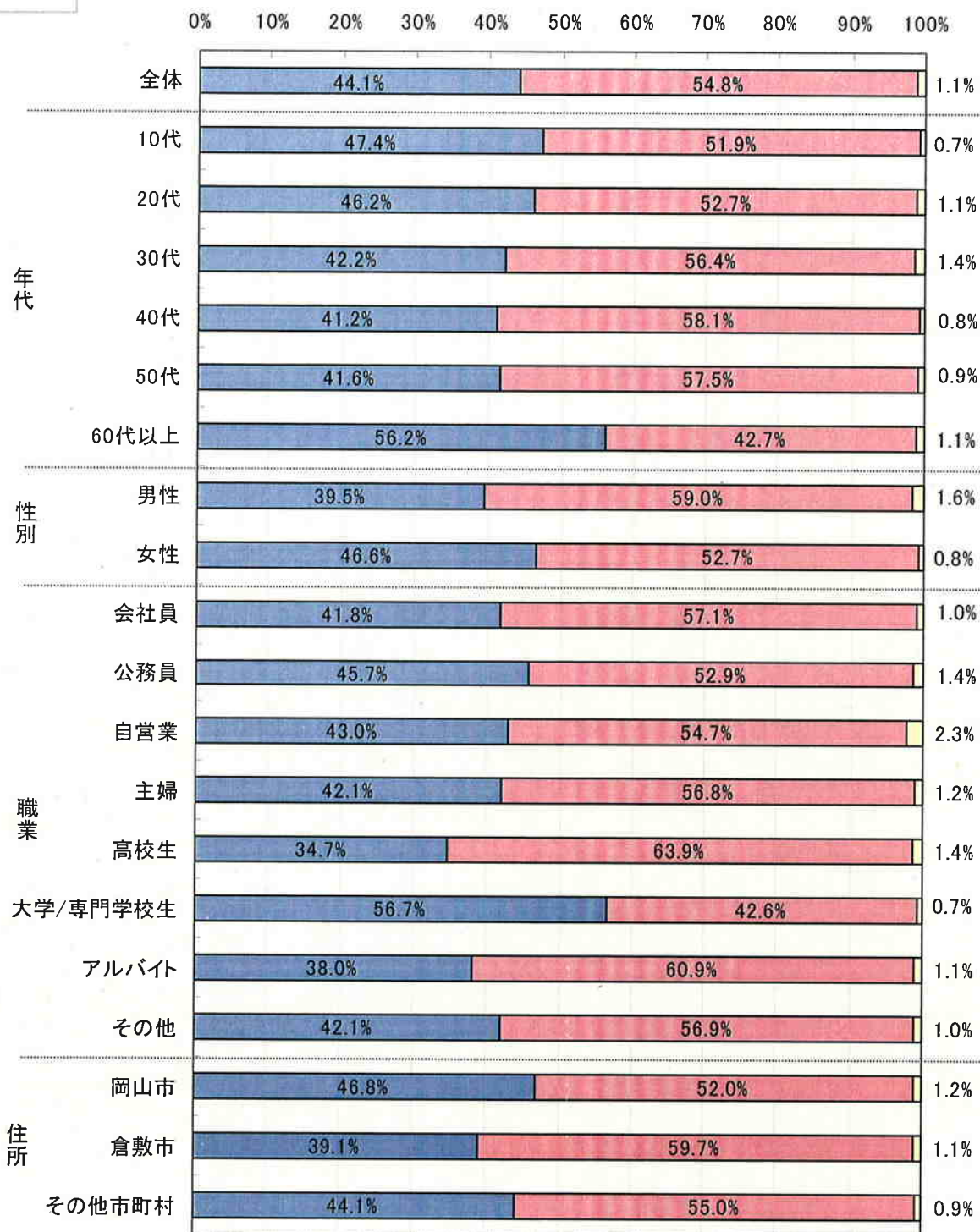
- 全体 「明るい」が44.1%、「ふつう」が54.8%とほぼ半数ずつで、「暗い」が1.1%と極わずかとなっている。
  - 年代 10代～50代までは大きな差異は見られないが、60代以上の「明るい」の割合が5割を超えている。
  - 性別 「明るい」の割合は、女性の方が男性より高い。
  - 職業 「良い」の回答率が高いのは大学／専門学校生で、逆に低いのが高校生、アルバイトとなっている。
  - 住所 居住地による差異はほとんどない。
  - 全国調査との比較  
 「明るい」と回答した割合は、岡山県の44.1%に比べ全国が34.7%と、岡山県の方が高い。
- 全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

		1.明るい	2.ふつう	3.暗い	計
全体		1,987	2,470	48	4,505
年代	10代	128	140	2	270
	20代	800	912	19	1,731
	30代	497	664	16	1,177
	40代	370	522	7	899
	50代	138	191	3	332
	60代以上	50	38	1	89
性別	男性	619	925	25	1,569
	女性	1,359	1,537	23	2,919
職業	会社員	782	1,068	19	1,869
	公務員	127	147	4	278
	自営業	55	70	3	128
	主婦	292	394	8	694
	高校生	25	46	1	72
	大学／専門学校生	382	287	5	674
	アルバイト	103	165	3	271
	その他	201	272	5	478
住所	岡山市	926	1,029	23	1,978
	倉敷市	458	699	13	1,170
	その他市町村	550	686	11	1,247

### 【雰囲気】

- 1.明るい
- 2.ふつう
- 3.暗い



問15-2. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。)  
 献血会場のサービスについて教えてください。  
 《職員の対応》

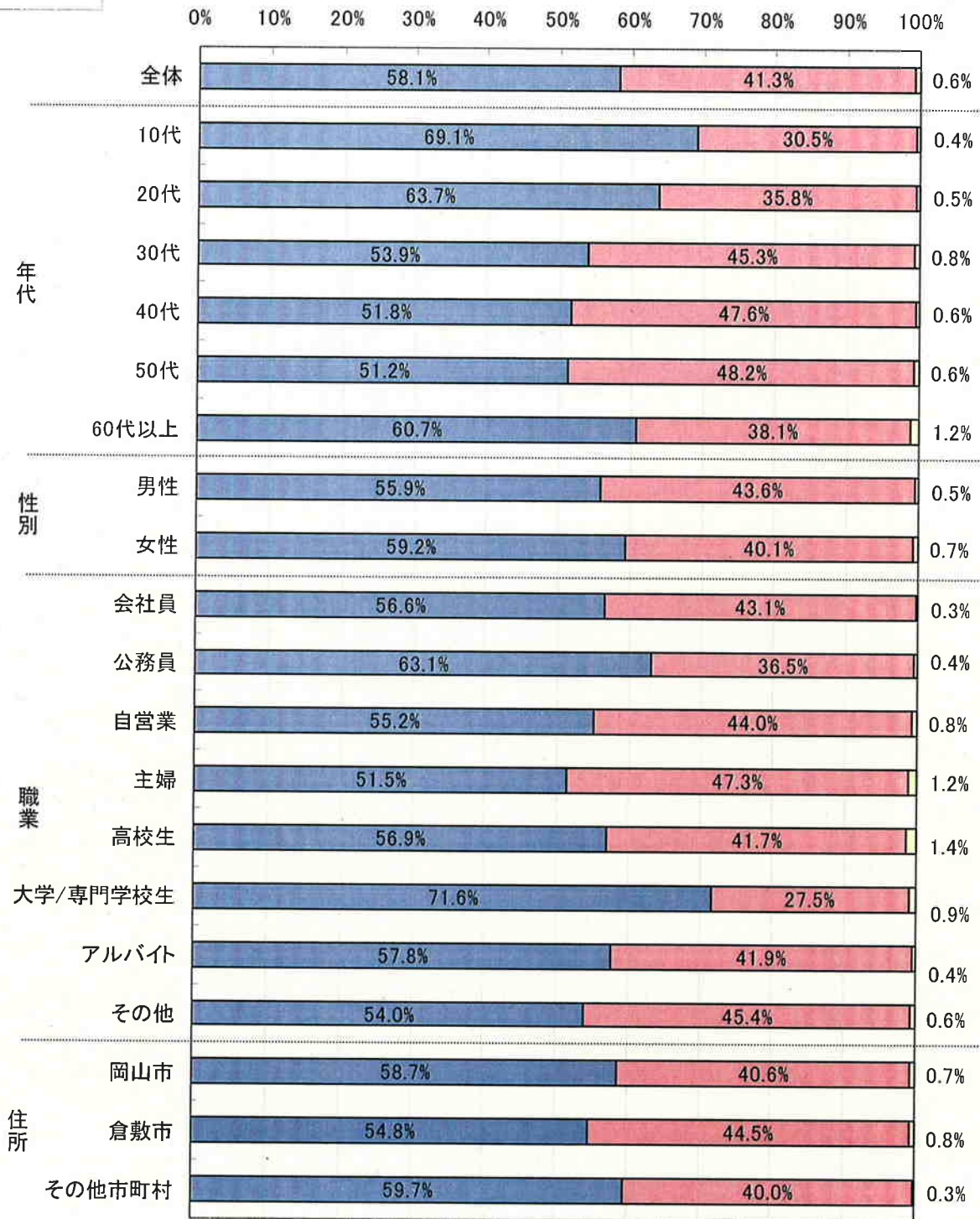
- 全体 「良い」が58.1%と半数以上を占め、「ふつう」が41.3%、「悪い」が0.6%と極わずかとなっている。
  - 年代 若いほど「良い」の割合が高く6割を超えている。30代から50代にかけては6割を切っているが、60代以上になると再び「良い」の割合が6割を超えている。
  - 性別 性別による差異はほとんどない。
  - 職業 「良い」の回答率が高いのは大学／専門学校生が約7割、次いで公務員が約6割となっている。
  - 住所 居住地による差異はほとんどない。
  - 全国調査の比較  
 「良い」と回答した割合は、岡山県の58.1%に比べ全国が47.2%と、岡山県の方が高い。
- 全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

		1.良い	2.ふつう	3.悪い	計
全体		2,603	1,850	26	4,479
年代	10代	186	82	1	269
	20代	1,098	618	8	1,724
	30代	631	530	9	1,170
	40代	465	427	5	897
	50代	168	158	2	328
	60代以上	51	32	1	84
性別	男性	867	677	7	1,551
	女性	1,724	1,167	19	2,910
職業	会社員	1,050	800	5	1,855
	公務員	173	100	1	274
	自営業	69	55	1	125
	主婦	356	327	8	691
	高校生	41	30	1	72
	大学／専門学校生	482	185	6	673
	アルバイト	156	113	1	270
	その他	258	217	3	478
住所	岡山市	1,154	799	13	1,966
	倉敷市	638	518	9	1,165
	その他市町村	739	495	4	1,238

- 1.良い
- 2.ふつう
- 3.悪い

### 【職員の対応】





問15-3. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。) 献血会場のサービスについて教えてください。 《記念品や軽食》

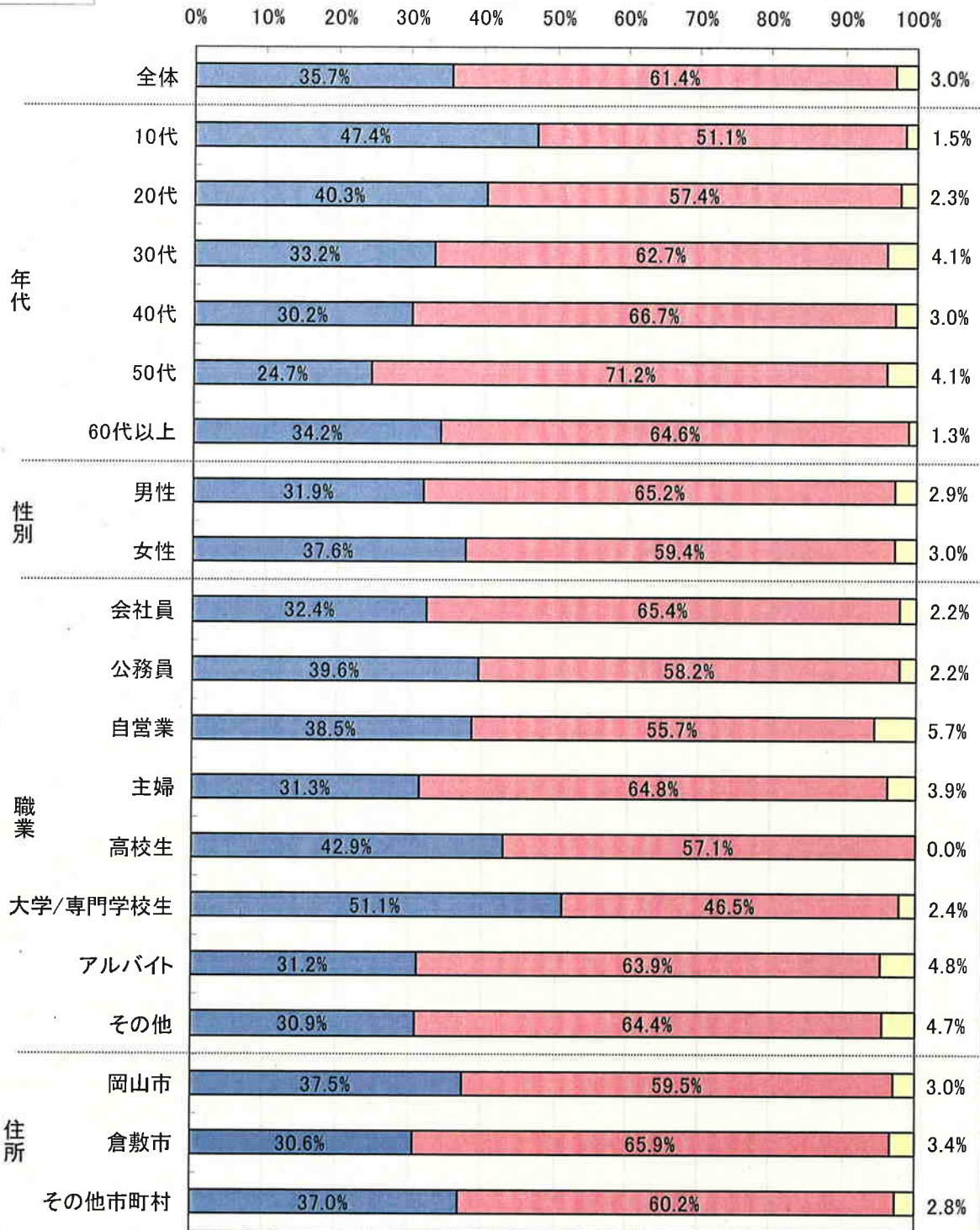
- 全体 「良い」が35.7%、「ふつう」が61.4%と6割以上を占め、「悪い」が3.0%と極わずかとなっている。
  - 年代 「良い」の回答率は、年代が若いほど多い傾向となっている。
  - 性別 性別による差異はほとんどない。
  - 職業 「良い」の回答率が高いのは、大学／専門学校生が約5割、逆に低いのがアルバイト、主婦、会社員となっている。
  - 住所 居住地による差異はほとんどない。
  - 全国調査の比較  
「良い」と回答した割合は、岡山県の35.7%に比べ全国が40.9%と、全国の方が高い。
- 全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

		1.良い	2.ふつう	3.悪い	計
全体		1,587	2,730	132	4,449
年代	10代	126	136	4	266
	20代	695	989	39	1,723
	30代	388	732	48	1,168
	40代	269	594	27	890
	50代	78	225	13	316
	60代以上	27	51	1	79
性別	男性	489	1,001	45	1,535
	女性	1,089	1,722	86	2,897
職業	会社員	599	1,209	41	1,849
	公務員	108	159	6	273
	自営業	47	68	7	122
	主婦	215	445	27	687
	高校生	30	40	0	70
	大学／専門学校生	343	312	16	671
	アルバイト	84	172	13	269
	その他	145	302	22	469
住所	岡山市	730	1,160	58	1,948
	倉敷市	356	766	40	1,162
	その他市町村	455	740	34	1,229

【記念品や軽食】

- 1.良い
- 2.ふつう
- 3.悪い



問16. (問1で「献血をしたことがある」と答えた方にお聞きします。)  
 今後も献血をしたいですか。

- 全体 「ぜひしたい」が64.4%と6割以上を占め、「したくない」が2.5%と極わずかとなっている。  
 また、「どちらとも言えない」が33.2%と3割以上を占めている。
- 年代 「ぜひしたい」は、20代の69.5%が最も高く、10代、30代、40代も6割以上を占めている。「したくない」は、各年代とも少ない中、年代が上がるにつれて増加傾向となっている。「どちらとも言えない」は、20代の28.3%が最も少なく、年代が上がるにつれて増加傾向となっており、60代以上は48.9%と約5割を占めている。
- 性別 女性の「ぜひしたい」は、男性を7.5ポイント上回っている。逆に「どちらとも言えない」は男性が女性を7ポイント上回っている。
- 職業 「ぜひしたい」は、大学/専門学校生75.1%と最も高く、次いで、公務員が72.6%と7割を超えているが、高校生は43.1%と最も低い。また、「したくない」、「どちらとも言えない」は、高校生がそれぞれ6.9%、50.0%と最も高い。
- 住所 居住地による差異はほとんどない。

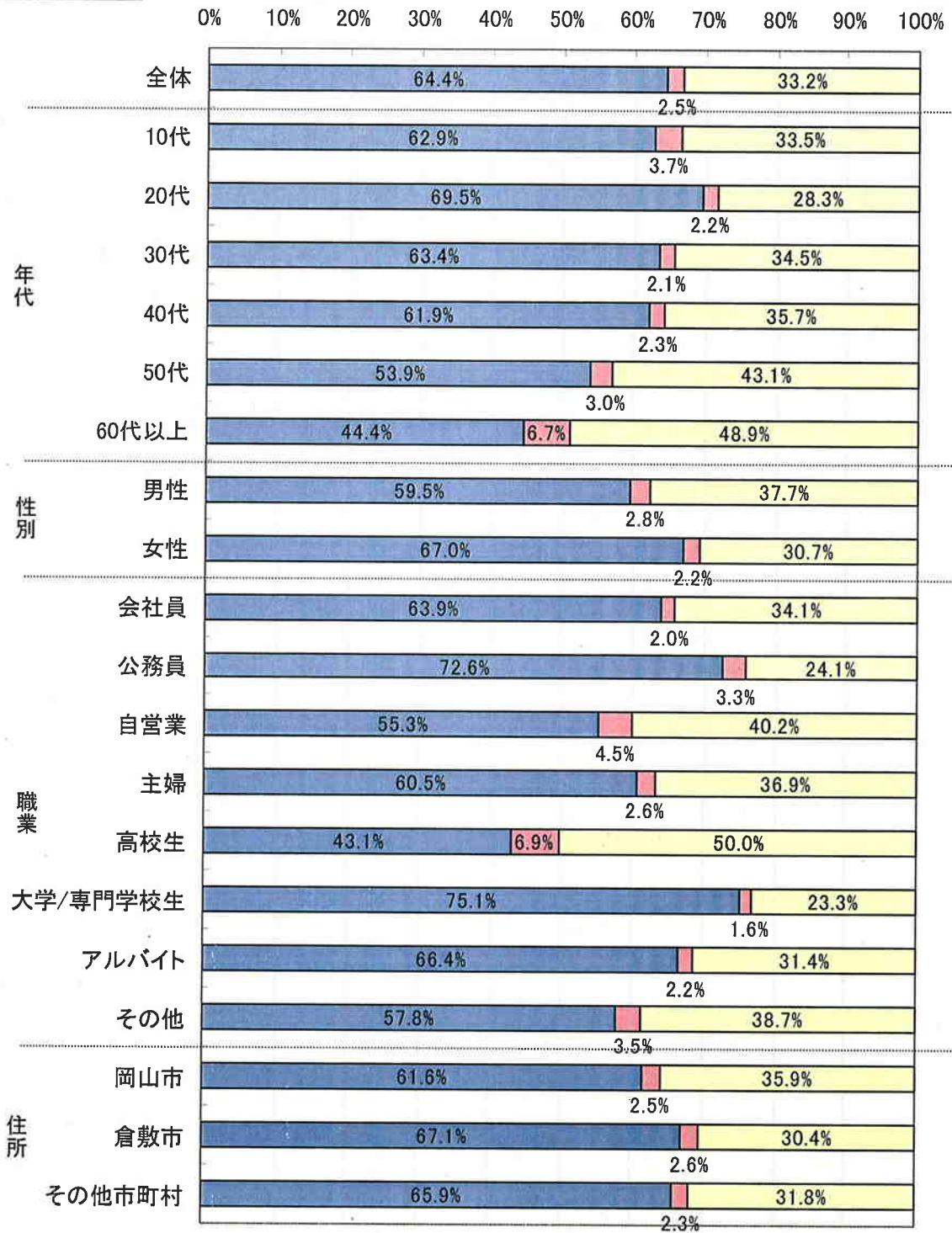
【人数】

		1.ぜひしたい	2.したくない	3.どちらとも言えない	計
全体		2,908	111	1,499	4,518
年代	10代	171	10	91	272
	20代	1,204	38	491	1,733
	30代	746	25	406	1,177
	40代	560	21	323	904
	50代	180	10	144	334
	60代以上	40	6	44	90
性別	男性	935	44	593	1,572
	女性	1,962	65	900	2,927
職業	会社員	1,194	37	638	1,869
	公務員	199	9	66	274
	自営業	73	6	53	132
	主婦	422	18	257	697
	高校生	31	5	36	72
	大学/専門学校生	507	11	157	675
	アルバイト	182	6	86	274
	その他	278	17	186	481
住所	岡山市	1,232	49	718	1,999
	倉敷市	780	30	353	1,163
	その他市町村	819	29	395	1,243

自由記述

- ・気分・体調が悪くなった…………… 15名
- ・貧血…………… 13名
- ・投薬中のため…………… 13名
- ・怖いから…………… 7名
- ・比重が軽いから…………… 7名
- ・健康に自信がないから…………… 6名
- ・病気(持病・生活習慣病など)のため…………… 6名
- ・200ml 献血が出来れば(採血量が少なければ)…………… 6名
- ・C型肝炎・B型肝炎のため…………… 4名
- ・輸血しているから…………… 4名
- ・記念品が不要なため…………… 4名
- ・低血圧のため…………… 3名
- ・忙しい(時間がかかる)ため…………… 3名
- ・痛そう…………… 3名
- ・不安(感染症の可能性がゼロではないと思うから等)…………… 3名
- ・記念品に差があるため(同じものばかり貰うので)…………… 3名
- ・無償だから…………… 2名
- ・本当に役立っているのかわからないため…………… 2名
- ・基準に達していないため…………… 2名
- ・献血ルームを増やして欲しい…………… 2名
- ・神経反射で一時的に血圧が下がってしまうため…………… 2名
- ・本当に必要なか重要性が分からないため…………… 2名
- ・ピアスをしているから…………… 2名
- ・アレルギーがあるから…………… 2名
- ・駐車場が少ないため…………… 2名
- ・面倒…………… 1名
- ・偽善者になった気になるから…………… 1名
- ・運動をしているから…………… 1名
- ・血液が濃くなればほしい…………… 1名
- ・冷え性のため…………… 1名
- ・雰囲気が嫌い…………… 1名
- ・降圧剤服用のため…………… 1名
- ・興味が無いから…………… 1名
- ・年齢が超えているから…………… 1名
- ・血液がウイルス感染しているから…………… 1名
- ・職員が忙しそう…………… 1名
- ・事前検査で毎回引つかかるため…………… 1名

- 1.ぜひしたい
- 2.したくない
- 3.どちらとも言えない





問17. (問1で「献血をしたことがない」と答えた方にお聞きします。)  
 献血をしたことがない理由を教えてください。  
 (当てはまるものを3つ選んでください。)

■全体 「なんとなく不安だから」が28.2%、「怖いから」が24.8%、「採血の針を刺されるのが嫌だから」が24.3%、「献血場所や機会が周囲にないから」が21.8%と、献血に対する「不安」・「恐怖」などの心理的要因や、針を刺されることへの嫌悪感、献血機会の要因が上位にある。また、「献血を申し込んだが、基準に達していなくてできなかった」が18.2%、「健康に自信がないから」が18.2%、「体重が50kg以下だったから」が14.9%と献血ができる基準に関連する理由も相当数ある。さらに「時間が掛かりそうだから」が24.9%、「献血している場所に入りづらかったから」が17.9%、「忙しくて献血する時間がないから」が17.2%、「どこで献血できるのか知らないから」が14.9%と、諸条件を整えば献血できる要因も相当数ある。

■年代 年代により、献血をしたことがない理由が異なっており、10代では「なんとなく不安だから」、「怖いから」が割合が高く、20代では、これらに加え、「採血の針を刺されるのが嫌だから」、「時間が掛かりそうだから」が高くなっている。また、30代以降では、「献血を申し込んだが、基準に達していなくてできなかった」、「健康に自信がないから」が高い。

■性別 男性では「時間が掛かりそうだから」の割合が高くなっている。女性では、「なんとなく不安だから」「怖いから」の割合が高くなっている。

■職業 高校生は、「なんとなく不安だから」、「怖いから」に続いて、「献血場所や機会が周囲にないから」、「どこで献血できるのか知らないから」が高く、大学/専門学校生は、「なんとなく不安だから」、「時間が掛かりそうだから」が高い。また、いずれの職業においても「時間が掛かりそうだから」、「採血の針を刺されるのが嫌だから」は総じて高くなっている。

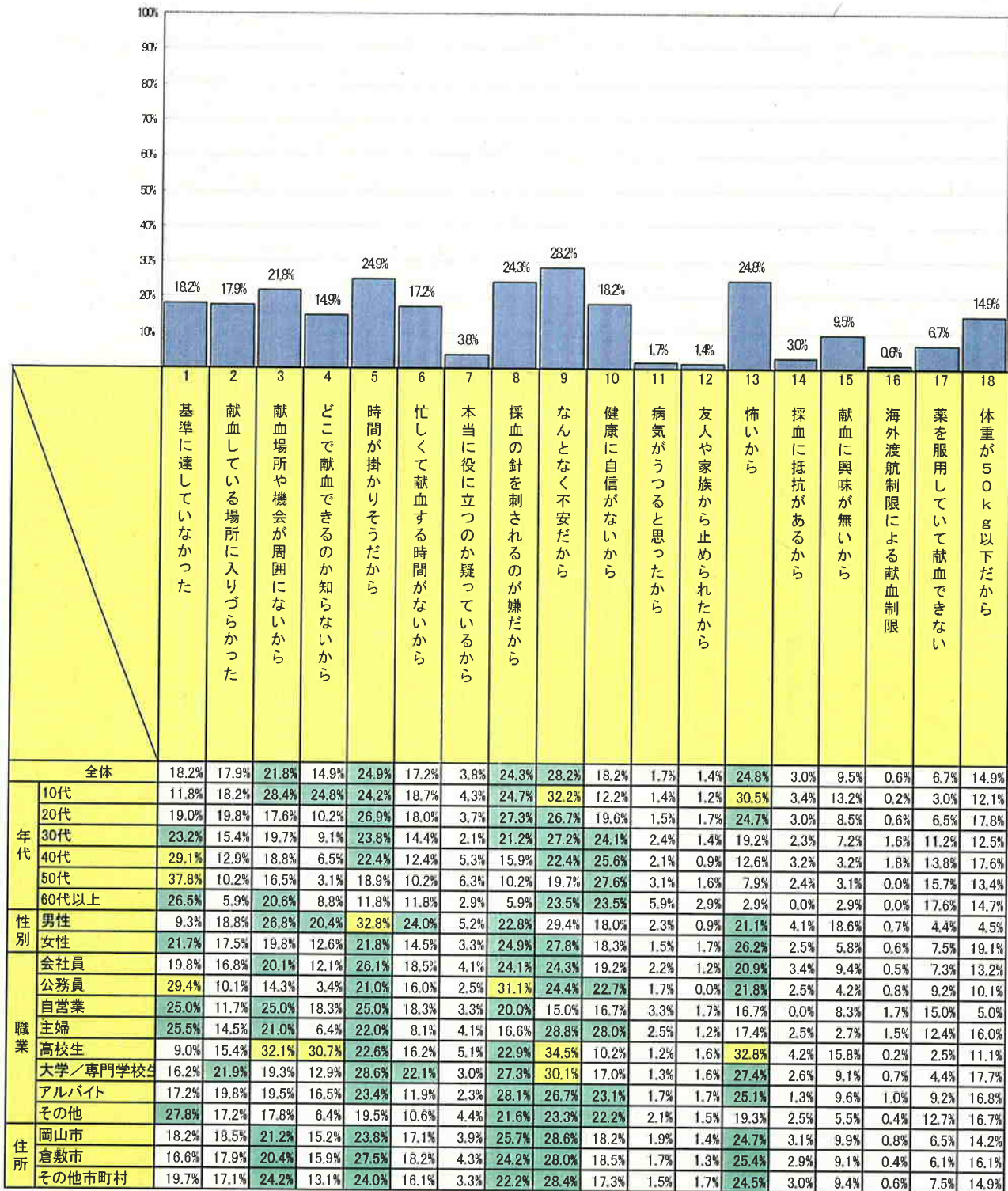
■住所 居住地による差異はほとんどない。

■全国調査との比較  
 全国調査でも似た結果で、「採血の針を刺されるのが嫌だから」31.2%、「なんとなく不安だから」30.8%、「時間が掛かりそうだから」21.6%が主な理由となっている。

全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

	1 献血を申し込んだが、基準に達していない	2 献したから	3 献血場所や機会が周囲にないから	4 どこで献血できるのか知らないから	5 時間が掛かりそうだから	6 忙しくて献血する時間がないから	7 自分の血液が本場に役に立つのか疑っているから	8 採血の針を刺されるのが嫌だから	9 なんとなく不安だから	10 健康に自信がないから	11 病気がうつると思ったから	12 友人や家族から止められたから	13 怖いから	14 採血や自分の血液を他人に提供することに抵抗があるから	15 献血に興味がないから	16 海外渡航制限による献血制限で献血できない	17 薬を服用していて献血できないから	18 体重50kg以下だから献血機会が少ない(400mL献血は体重50kg以上)	総回答者数	
全体	1,020	1,004	1,223	834	1,400	965	215	1,365	1,585	1,021	96	80	1,391	169	534	36	374	836	5,616	
年代	10代	235	361	564	492	480	371	85	490	639	243	28	24	605	68	261	3	60	240	1,984
	20代	442	460	410	238	625	419	85	634	620	455	36	39	575	69	197	14	150	415	2,325
	30代	184	122	156	72	189	114	17	168	216	191	19	11	152	18	57	13	89	99	793
	40代	99	44	64	22	76	42	18	54	76	87	7	3	43	11	11	6	47	60	340
	50代	48	13	21	4	24	13	8	13	25	35	4	2	10	3	4	0	20	17	127
	60代以上	9	2	7	3	4	4	1	2	8	8	2	1	1	0	1	0	6	5	34
性別	男性	150	305	434	330	532	389	84	369	476	291	37	14	342	67	302	12	72	73	1,621
	女性	865	697	788	501	868	575	130	990	1,107	728	58	66	1,042	101	231	24	299	760	3,978
職業	会社員	277	235	282	169	366	259	57	338	341	269	31	17	293	47	131	7	102	185	1,401
	公務員	35	12	17	4	25	19	3	37	29	27	2	0	26	3	5	1	11	12	119
	自営業	15	7	15	11	15	11	2	12	9	10	2	1	10	0	5	1	9	3	60
	主婦	123	70	101	31	106	39	20	80	139	135	12	6	84	12	13	7	60	77	482
	高校生	90	155	323	309	227	163	51	230	347	103	12	16	330	42	159	2	25	112	1,005
	大学/専門学校生	278	376	331	221	491	380	51	469	516	292	22	27	471	45	157	12	75	304	1,716
	アルバイト	52	60	59	50	71	36	7	85	81	70	5	5	76	4	29	3	28	51	303
	その他	131	81	84	30	92	50	21	102	110	105	10	7	91	12	26	2	60	79	472
住所	岡山市	452	458	526	377	591	425	97	637	708	452	46	35	613	77	246	20	160	352	2,479
	倉敷市	260	281	320	249	430	285	68	379	438	290	26	20	398	45	143	7	96	252	1,566
	その他市町村	292	254	359	195	356	239	49	329	421	256	23	25	363	44	139	9	112	221	1,484



... 30%以上  
 ... 20%以上

【ご意見】

- ・献血をしたが、安心感が得られなかった。血管が細いが大丈夫かと確認したが、明確な答えが貰えなかった。
- ・200mLを増やして欲しい。
- ・年間スケジュールなどを分かりやすく提示して欲しい。
- ・ボランティアに頼って赤十字の利益を追求しているのがよく思えないから。
- ・時間がないのに200mL献血と言ったのに、無理やり400mL取られた。
- ・最近の若者が献血をしないというニュースを見て、献血に対するイメージが悪くなった。
- ・献血依頼が来るが、できる月にやる場所を明記したものを送って欲しい。
- ・せっかく時間を作って行っても、血液型が必要な型ではなかった。
- ・バスで献血しようと思ったが、3回とも混雑しすぎており出来なかった。以後していない。

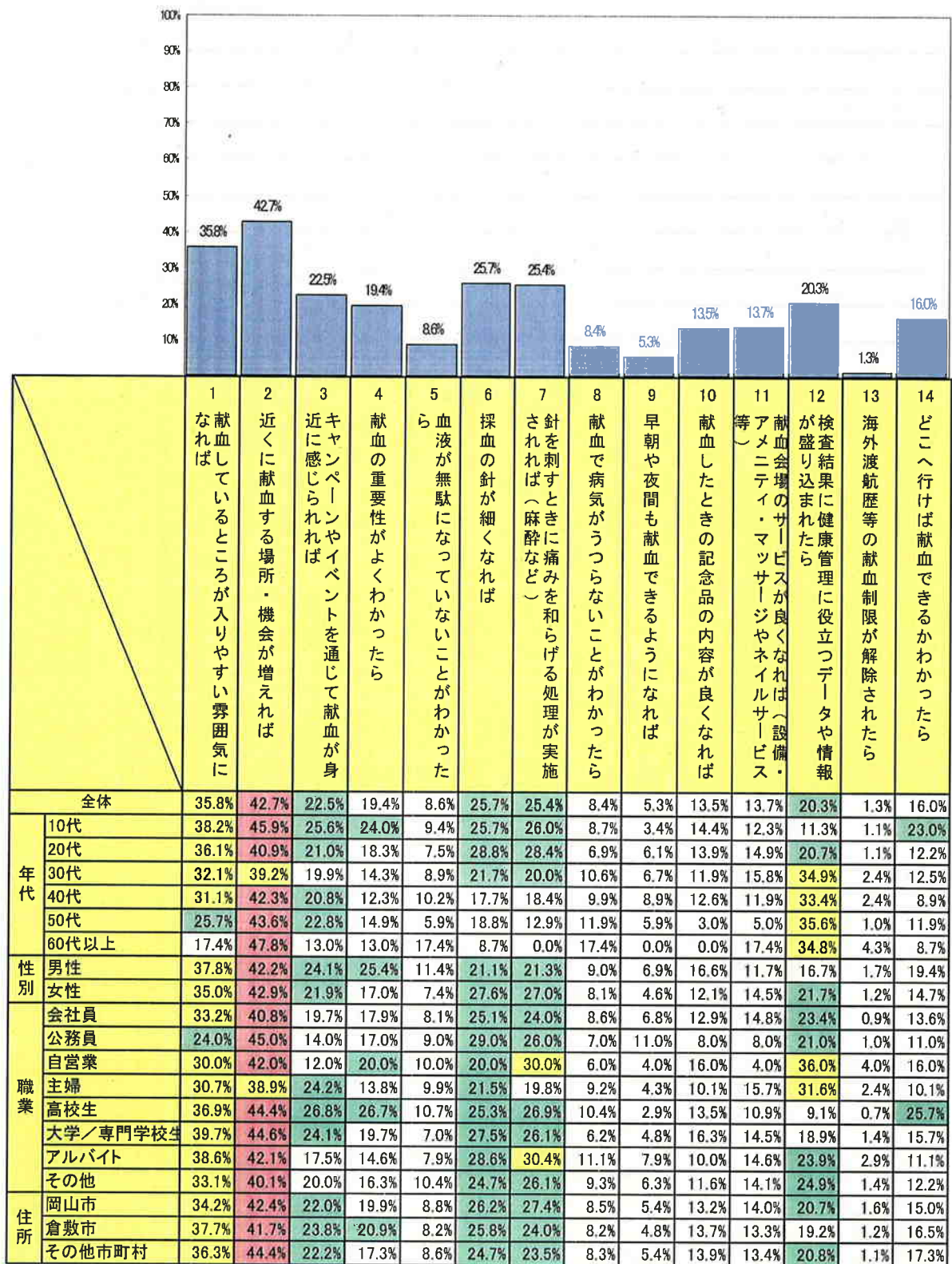


問18. (問1で「献血をしたことがない」と答えた方にお聞きします。)  
 今後どのようなきっかけがあれば献血しますか。  
 (当てはまるものを3つ選んでください。)

- 全体 「近くに献血する場所・機会が増えれば」が42.7%、「献血しているところが入りやすい雰囲気になれば」が35.8%と、献血機会や献血会場の雰囲気に関するものが上位を占め、次に、「採血の針が細くなれば」が25.7%、「針を刺すときに痛みを和らげる処理が実施されれば(麻酔など)」が25.4%と、「痛み」や「恐怖」の緩和に関するものが続き、その他、「キャンペーンやイベントを通じて献血が身近に感じられれば」、「検査結果に健康管理に役立つデータや情報が盛り込まれたら」なども割合が高い。
- 年代 すべての年代で、「近くに献血する場所・機会が増えれば」の割合が高い。年代が若くなるほど「献血しているところが入りやすい雰囲気になれば」の割合が高くなっており、また、年代が高くなるほど、「検査結果に健康管理に役立つデータや情報が盛り込まれたら」が高く、健康への関心がうかがえる。
- 性別 性別による差異はほとんどない。
- 職業 すべての職業で、「近くに献血する場所・機会が増えれば」、「献血しているところが入りやすい雰囲気になれば」の割合が高く、また、自営業、主婦では、「検査結果に健康管理に役立つデータや情報が盛り込まれたら」が多い。
- 住所 居住地による差異はほとんどない。

【人数】

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
		献血しているところが入りやすい雰囲気 になれば	近くに献血する場所・機会が増えれば	キャンペーンやイベントを通じて献血が身近に感じ られれば	献血の重要性がよくわかったら	血液が無駄になっていないことがわかったら	採血の針が細くなれば	針を刺すときに痛みを和らげる処理が実施されれば (麻酔など)	献血で病気がうつらないことがわかったら	早朝や夜間も献血できるようにすれば	献血したときの記念品の内容が良くなれば	献血会場のサービスが良くなれば(設備・アメニ ティ・マツサージやネイルサービス等)	検査結果に健康管理に役立つデータや情報が盛り込 まれたら	海外渡航歴等の献血制限が解除されたら	どこへ行けば献血できるかわかったら	総 回 答 者 数
全体		1,864	2,223	1,172	1,012	446	1,340	1,323	436	276	702	714	1,055	70	835	5,209
年代	10代	739	887	495	463	182	497	502	169	66	278	237	218	21	445	1,933
	20代	768	870	446	390	160	612	605	146	130	296	317	441	23	259	2,127
	30代	231	282	143	103	64	156	144	76	48	86	114	251	17	90	720
	40代	91	124	61	36	30	52	54	29	26	37	35	98	7	26	293
	50代	26	44	23	15	6	19	13	12	6	3	5	36	1	12	101
	60代以上	4	11	3	3	4	2	0	4	0	0	4	8	1	2	23
性別	男性	577	645	369	388	174	323	325	138	106	254	179	255	26	296	1,528
	女性	1,284	1,574	802	622	271	1,013	991	297	170	445	533	796	44	539	3,667
職業	会社員	424	521	251	229	103	320	306	110	87	164	189	298	12	174	1,276
	公務員	24	45	14	17	9	29	26	7	11	8	8	21	1	11	100
	自営業	15	21	6	10	5	10	15	3	2	8	2	18	2	8	50
	主婦	127	161	100	57	41	89	82	38	18	42	65	131	10	42	414
	高校生	368	443	267	266	107	252	268	104	29	135	109	91	7	256	998
	大学/専門学校生	634	711	385	314	111	438	417	99	76	260	232	301	23	250	1,595
	アルバイト	108	118	49	41	22	80	85	31	22	28	41	67	8	31	280
	その他	146	177	88	72	46	109	115	41	28	51	62	110	6	54	441
住所	岡山市	788	976	507	457	203	604	631	196	125	303	323	477	36	345	2,301
	倉敷市	555	613	350	308	120	380	353	121	71	201	196	282	18	242	1,471
	その他市町村	494	605	303	236	117	336	320	113	73	189	182	283	15	235	1,362



... 40%以上  
 ... 30%以上  
 ... 20%以上



問19. (問1で「献血をしたことがない」と答えた方にお聞きします。)  
今後、献血をしてみたいですか。

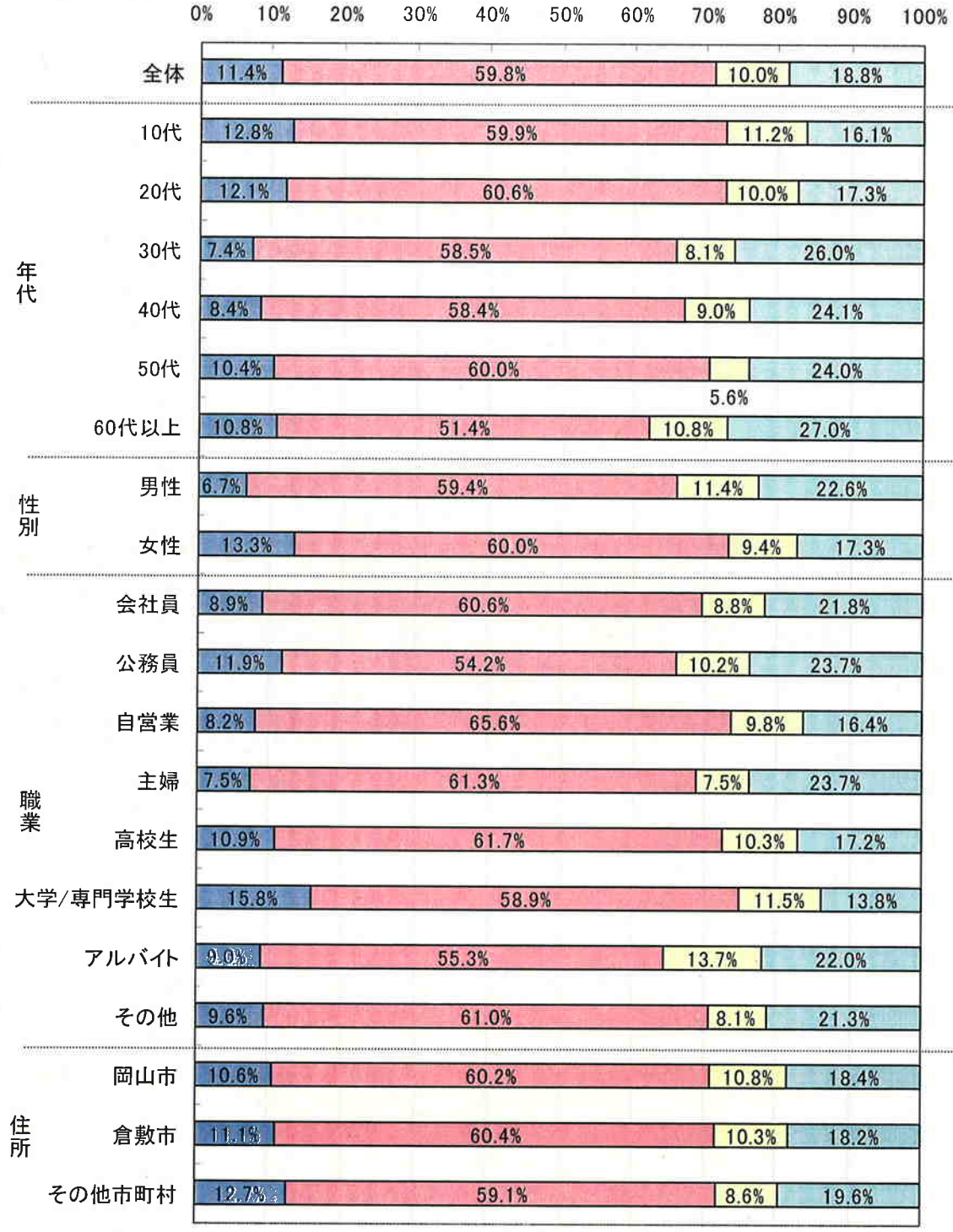
■全体	「ぜひしてみたい」が11.4%、「機会があればしたい」が59.8%と、「献血をしてみたい派」は、7割以上を占め、「したくない」が10.0%、「どちらともいえない」が18.8%となっている。
■年代	年代が若いほど「献血をしてみたい派」が多い。最も少ない60代以上でも6割以上となっている。
■性別	女性の方が、「献血をしてみたい派」が多い。
■職業	「献血をしてみたい派」は、すべての職業で6割以上を占めている。最も多いのが大学／専門学校生で約75%となっている。
■住所	居住地による差異はほとんどない。
■全国調査との比較	全国調査では「ぜひしてみたい」「機会があればしたい」が47.4%と過半数を割っているが、岡山では「ぜひしてみたい」「機会があればしたい」が71.2%と7割を超えている。

全国調査出典：平成18年 厚生労働省「若年層献血意識に関する調査」

【人数】

		1.ぜひしてみたい	2.機会があればしたい	3.したくない	4.どちらともいえない	計
全体		636	3,338	560	1,047	5,581
年代	10代	252	1,177	220	317	1,966
	20代	279	1,400	231	400	2,310
	30代	58	461	64	205	788
	40代	29	201	31	83	344
	50代	13	75	7	30	125
	60代以上	4	19	4	10	37
性別	男性	107	945	181	359	1,592
	女性	528	2,385	375	687	3,975
職業	会社員	124	844	122	303	1,393
	公務員	14	64	12	28	118
	自営業	5	40	6	10	61
	主婦	36	295	36	114	481
	高校生	108	611	102	170	991
	大学／専門学校生	269	1,000	195	234	1,698
	アルバイト	27	166	41	66	300
	その他	46	293	39	102	480
住所	岡山市	261	1,476	264	452	2,453
	倉敷市	173	941	160	283	1,557
	その他市町村	189	879	128	292	1,488

- 1.ぜひしてみたい
- 2.機会があればしたい
- 3.したくない
- 4.どちらともいえない



＜献血等に関する意識調査＞



献血キャラクター

けんけつちゃん

調査委託機関：岡山県保健福祉部医薬安全課

：岡山県赤十字血液センター

調査実施機関：㈱キャリアプランニング

このアンケート調査は、今後の献血推進等の指標作成を目的として実施しております。

次の設問に、ご回答下さいますようご協力を宜しくお願い致します。

記入日：\_\_\_\_\_

年代：	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
性別：	男性	・	女性			
職業：	会社員 高校生	・	公務員 大学／専門学校生	・	自営業 アルバイト	主婦 その他（ ）
住所：	岡山市 県外（ ）	・	倉敷市 （ ）	・	岡山県その他市町村（ ）	

問1から問19までは献血に関する質問です。岡山県赤十字血液センターからお聞きします。

問1：今までに献血をしたことがありますか。

1. ある                      2. ない

問2：献血の種類や方法など、献血について知っていますか。

1. 知っている      2. ある程度知っている      3. あまり知らない      4. 全く知らない

問3：献血に関心はありますか。

1. 非常に関心がある      2. 関心がある      3. あまり関心がない      4. 全く関心がない

問4：次のうち、あなたが献血に関する広報媒体として見たこと(聞いたこと)のあるものを全てお答えください。

- |               |                         |         |                    |
|---------------|-------------------------|---------|--------------------|
| 1. テレビ        | 11. 献血をテーマにしたブログ        | 20. その他 |                    |
| 2. ラジオ        | 12. 献血をテーマにしたウェブサイト     | （具体的に）  |                    |
| 3. 新聞         | 13. 献血バス                |         |                    |
| 4. 街頭での呼びかけ   | 14. 友人や家族から聞いた          |         |                    |
| 5. チラシの配布     | 15. 学校の授業の教材            |         |                    |
| 6. 会社や地区の回覧板  | 16. 雑誌                  |         |                    |
| 7. ポスターの掲示    | 17. 岡山県のホームページ          |         |                    |
| 8. 献血に関するイベント | 18. 岡山県赤十字血液センターのホームページ |         |                    |
| 9. 自治体の広報誌    | 19. 厚生労働省のホームページ        |         | 21. 見たこと(聞いたこと)がない |
| 10. パンフレット    |                         |         |                    |

問5：次のうち、献血についてあなたが「既に知っていた」情報を全てお答えください。

1. 献血バスでは、輸血時の安全性を高めるため400mL献血への協力もお願いしている  
 2. HIV(エイズ)検査の結果は知らせていない  
 3. 献血を通じてエイズや肝炎、その他の感染症に感染する可能性はない

問6：献血ルームや献血バス等、各献血会場のイメージを教えてください。

1. 明るくて快適な場所      2. 暗くて無機質な場所      3. その他（ ）

問7：献血推進のためのキャラクター「けんけつちゃん」を知っていますか。※「けんけつちゃん」は上記イラスト

問1で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問9: 初めて献血をしたのはいつですか。

1. 16～18歳      2. 19～22歳      3. 23～29歳      4. 30～39歳      5. 40歳～49歳  
6. 50歳以上

問10: 初めて献血をした場所はどこですか。

1. 献血ルーム(血液センター)  
2. 献血バス(a.高校 b.大学・専門学校 c.勤務先 d.ショッピングモールなど)  
3. 覚えていない  
4. その他

問11: 現在はどこで献血をすることが多いですか。

1. 献血ルーム(血液センター)  
2. 献血バス(a.高校 b.大学・専門学校 c.勤務先 d.ショッピングモールなど)  
3. その他

問12: 初めての献血の種類は何でしたか。

1. 200mL献血      2. 400mL献血      3. 成分献血      4. 覚えていない

問13: 今までの合計献血回数は何回ですか。

1. 1回      2. 2回      3. 3～5回      4. 6～10回  
5. 11～20回      6. 21～30回      7. 31回以上      8. わからない

問14: 献血のきっかけは次のうちどれですか？

初めて献血をした際にきっかけとなったもの ⇒

--	--	--

現在献血をするきっかけとなっているもの ⇒

--	--	--

※当てはまるものを3つ選んでください。

1. 自分の血液が役に立ってほしいから
2. 輸血用の血液が不足していると聞いたから
3. 自分の血液型が不足していたから
4. 自分の血液の検査結果を見て健康管理をしたかったから
5. お菓子やジュースがもらえるから
6. 友人に誘われたから
7. 献血会場で誘われたから
8. 時間を持て余していたから
9. 自分の血液型を知りたかったから
10. なんとなく

問15: 献血会場のサービスについて教えてください。

- |        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| 雰囲気    | 1. 明るい | 2. ふつう | 3. 暗い |
| 職員の対応  | 1. 良い  | 2. ふつう | 3. 悪い |
| 記念品や軽食 | 1. 良い  | 2. ふつう | 3. 悪い |

問16: 今後も献血をしたいですか。

1. ぜひしたい      2. したくない      3. どちらとも言えない



問1で「2. ない」と答えた方にお聞きします。

問17: 献血をしたことがない理由を教えてください。

※当てはまるものを3つ選んでください。

1. 献血を申し込んだが、基準に達していなくてできなかった
2. 献血している場所に入りづらかったから
3. 献血場所や機会が周囲にないから
4. どこで献血できるのか知らないから
5. 時間が掛かりそうだから
6. 忙しくて献血する時間がないから
7. 自分の血液が本当に役に立つのか疑っているから
8. 採血の針を刺されるのが嫌だから
- 9.なんとなく不安だから
10. 健康に自信がないから
11. 病気がうつらと思ったから
12. 友人や家族から止められたから
13. 怖いから
14. 採血や自分の血液を他人に提供することに抵抗があるから
15. 献血に興味が無いから
16. 海外渡航制限による献血制限で献血できない
17. 薬を服用していて献血できないから
18. 体重が50kg以下だから献血機会が少ない(400mL献血は体重50kg以上)

問18: 今後どのようなきっかけがあれば献血しますか。

※当てはまるものを3つ選んでください。

1. 献血しているところが入りやすい雰囲気になれば
2. 近くに献血する場所・機会が増えれば
3. キャンペーンやイベントを通じて献血が身近に感じられれば
4. 献血の重要性がよくわかったら
5. 血液が無駄になっていないことがわかったら
6. 採血の針が細くなれば
7. 針を刺すときに痛みを和らげる処理が実施されれば(麻酔など)
8. 献血で病気がうつらないことがわかったら
9. 早朝や夜間も献血できるようになれば
10. 献血したときの記念品の内容が良くなれば
11. 献血会場のサービスが良くなれば(設備、アメニティ、マッサージやネイルサービス等)
12. 検査結果に健康管理に役立つデータや情報が盛り込まれたら
13. 海外渡航歴等の献血制限が解除されたら
14. どこへ行けば献血できるかわかったら

問19: 今後、献血をしてみたいですか。

1. ぜひしてみたい    2. 機会があればしたい    3. したくない    4. どちらともいえない